ひょうごSDGs Hubミーティング
次　第

日時　2024(令和6)年10月21日(月)
15:00～17:00
会場　起業プラザひょうご

開会

あいさつ

第1部　連携先等の募集

①ブルーカーボンに関する取組の連携先募集 …… (一社)須磨里海の会
②海の豊かさを守ろう!「ヘチマプロジェクト」の連携先募集 …… (株)毛髪クリニックリーブ21
③「企業の森づくり」の参画企業募集 …… 県治山課、生活協同組合コープこうべ
④県産木材の利用に関する補助金の申込企業募集 …… 県林務課
⑤脱炭素経営に関する補助金等の申込企業募集 …… 県環境政策課
⑥「ひょうご産業SDGs認証事業」の申込起業募集 …… 県地域経済課、(株)神防社

休憩

第2部　意見交換

第1部の発表者を交え、複数のグループに分かれて意見交換

閉会

ひょうごSDGs Hubミーティング

第1部　連携先等の募集

ひょうご SDGs Hub ミーティング

須磨海岸における
ブルーカーボンに関する取り組み

令和6(2024)年10月21日

一般社団法人 須磨里海の会　吉田裕之

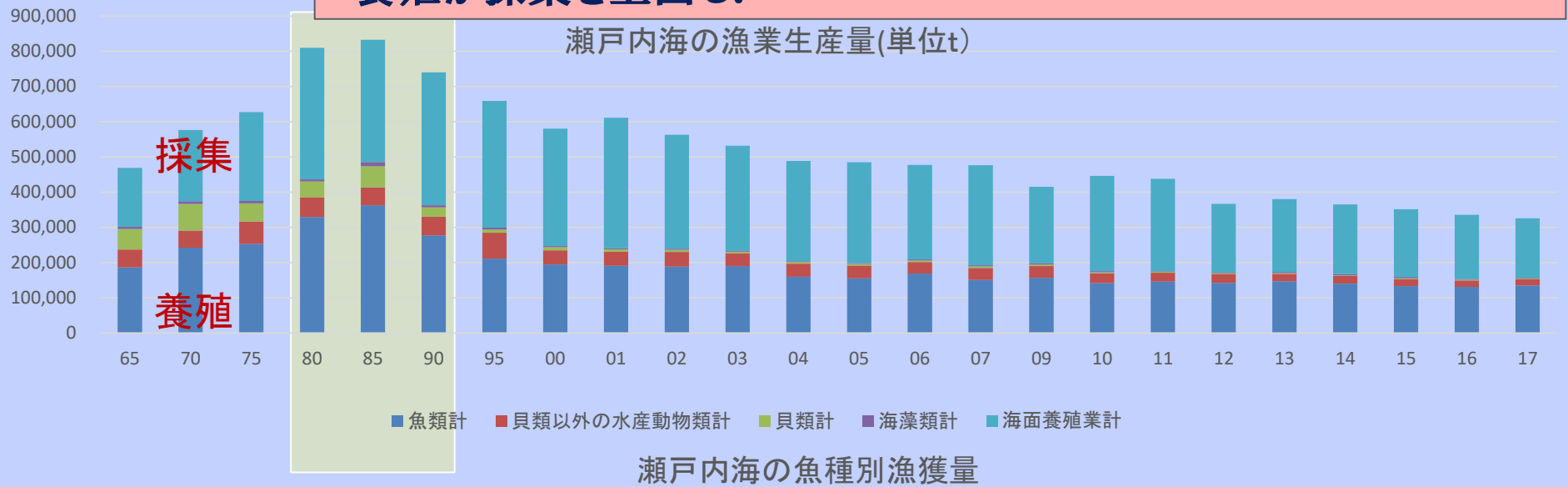
本発表の里海活動ならびに調査研究には以下の助成を受けています
①大阪湾広域臨海環境整備センター:大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成(2010～12)
②神戸市「食都神戸」実践モデル活動支援(2017)、神戸市KOBEゼロカーボン支援補助事業(2022～23)
③兵庫県ひょうごの水辺魅力再発見！支援事業等(2018～2023)
④(公財)兵庫県環境創造協会ひょうご環境保全創造活動助成(2018～2023)
⑤神戸市立須磨海浜水族園の調査・研究・社会教育活動ならびに里海活動助成(2010～2019)

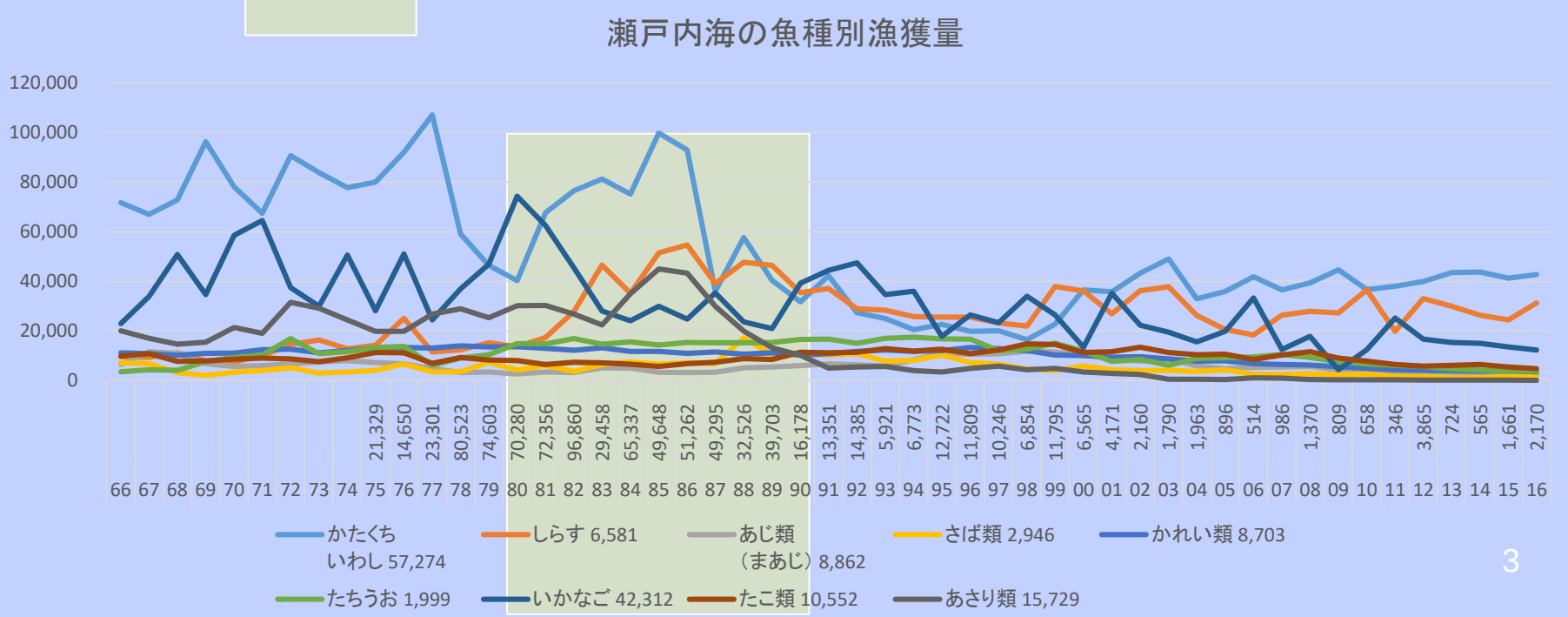
海の豊かさを守ろう（海の資源を守り、大切に使おう）

生態系を保全し、きれいで安全で、かつ海から得られる恵みを回復させること

変化する海と人とのかかわり

- 瀬戸内海の漁業生産量は、1985年（昭和60年）頃をピークに減少.
- 急激な減少は、プランクトン食とアサリ類などベントスで顕著.
- 養殖が採集を上回る.





富栄養化・海洋汚染・地形改変

50年経過

・富栄養化を抑えるために栄養(N/P)を規制

・埋め立ての規制強化、海砂利採取の禁止、有害物質対策・・・
さまざまな自然環境の再生対策

水質が改善されたが、生物の生産能力はもどらず、
機能が最大限に発揮されているとはいいがたい

➡水質以外にも、高い水温、流れ、海ごみと有害物質など
【生態系のつながりとバランスに問題】

【瀬戸内海環境保全特別措置法の法改正　2015/10/2施行】
その後兵庫県は、瀬戸内海を「豊かな海」にもどすために、海の栄養を増やすなどの施策を実施している。

「生態系サービス」

「海の恵み」を考えると

①水産資源：魚介類など食べるもの、調味料（塩・コンブ・かつお節）

②生活資源：各種生活用品

③バイオ資源：薬品、微生物からの得られる特殊な遺伝子

④鉱物資源：金属、特にレアメタル

⑤エネルギー資源：石油、メタンハイドレード、発電（潮位差、潮力、温度差）・・・

❶供給サービス：①～⑤のように、自然界で生産された資源を得ること

これだけではありません

❷調整サービス：気候の安定や水質の浄化　例えばブルーカーボン

❸文化的サービス：海水浴や釣りなどのレクリエーションや精神的なさまざまな恩恵

❹生態系の基盤サービス：栄養塩の循環や光合成の場となる

⇒　私たちは、生態系からさまざまなサービスを受けて生きている。

豊かな海へ

私たちの里海

須磨
里海の会

須磨海岸に生息する生物を豊かにするため、

生態系の再生と保全の取り組みを通じて、

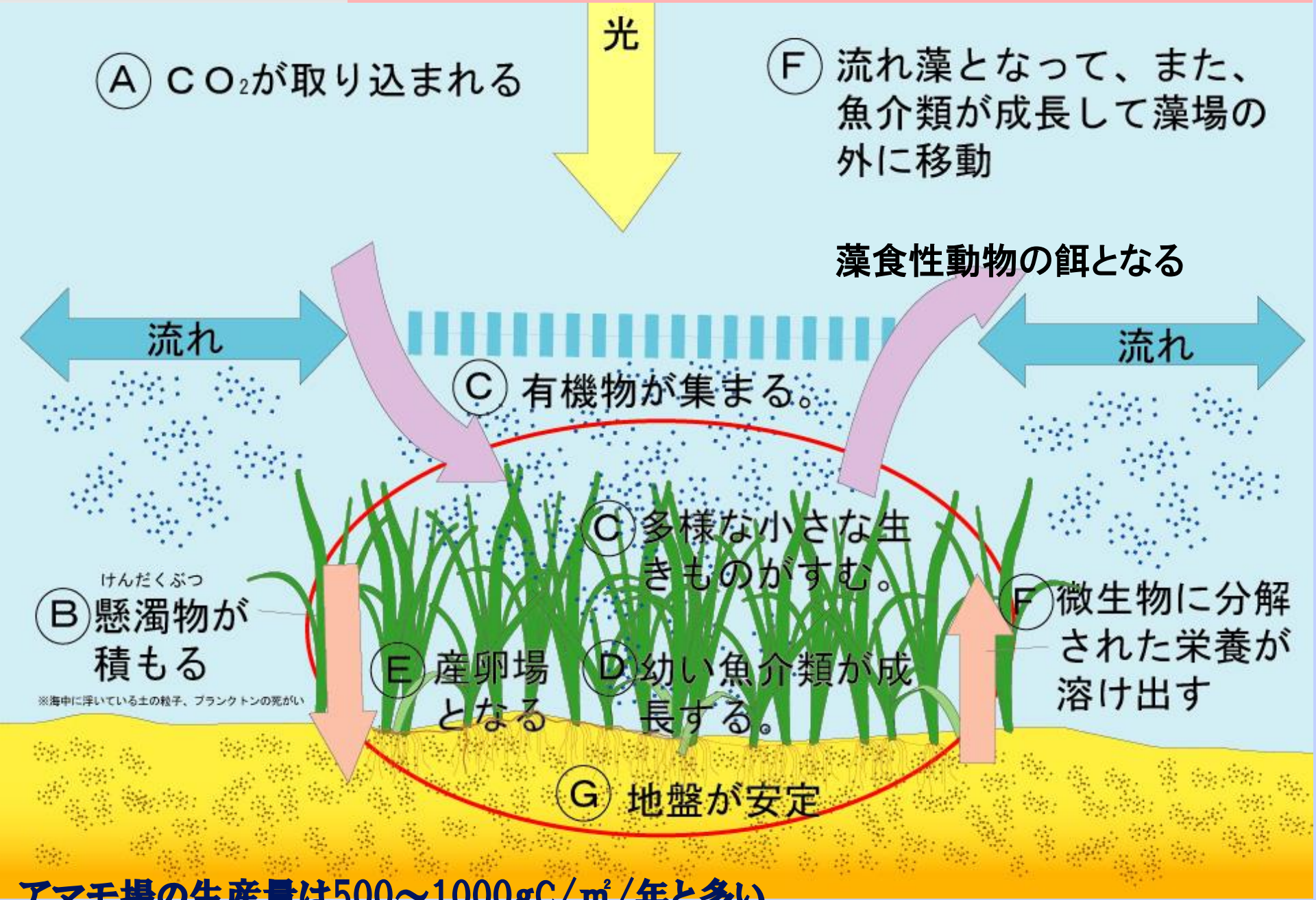
人々の海への関心を高め、

人々を海に誘い、

その恵みを次代に継承する

ブルーカーボン

藻場の作用と機能：砂地に生育するアマモ場を例に



アマモ場の生産量は500～1000gC/㎡/年と多い

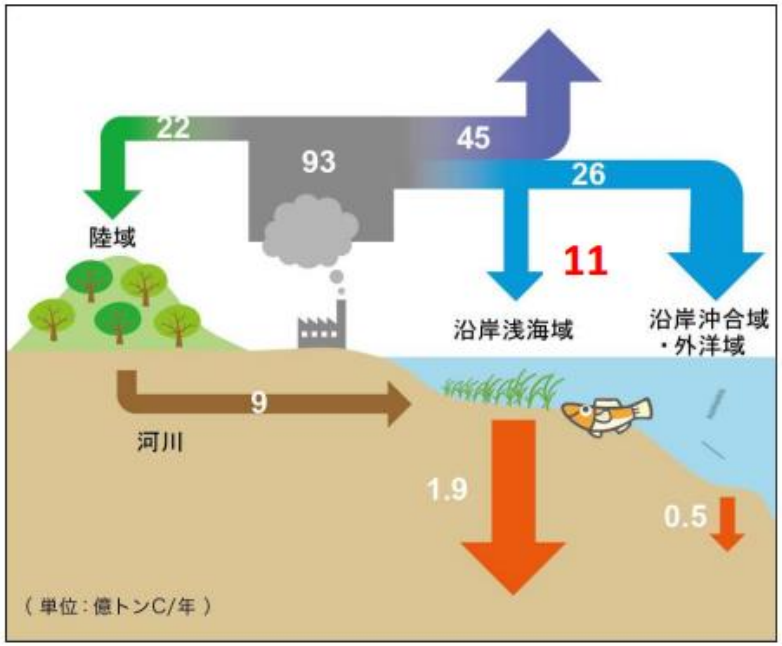
ブルーカーボン

・海の中の「グリーンカーボン（C）」

・グリーンカーボンとは、光合成などの作用によって植物が大気から吸収し、生物の体内や土壌に蓄積された炭素（C）のこと

光合成とは、植物が光のエネルギーを利用して、二酸化炭素（CO_2）と水（H_2O）から有機物を合成する過程

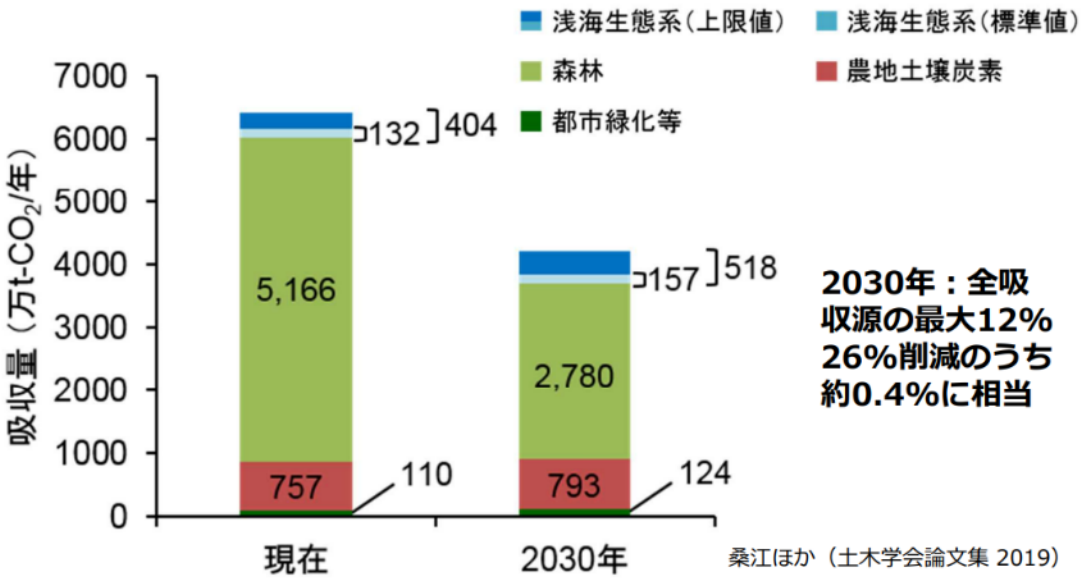
炭素循環のイメージ



排出された二酸化炭素のうち、一部が陸域（22億t-C/年）や海洋（26億t-C/年）に吸収

出典：「ブルーカーボン」（地人書館）等

我が国のブルーカーボンによる吸収量：約130～400万トン/年



桑江ほか（土木学会論文集 2019）

持続的な保全・再生・創出・活動

播種準備　ヤシマットと団子の作成

持続的な保全・再生・創出・活動

移植試験区の設置と移植（播種を含む

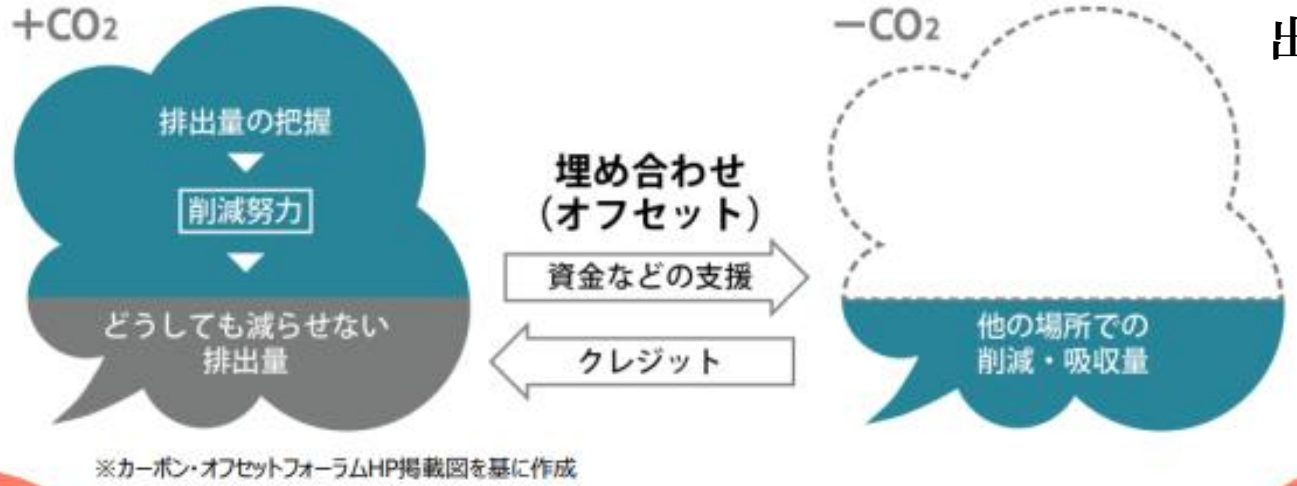
粘土結着法

ヤシマット法とアマモパック法

持続的な保全・再生・創出・活動

「Ｊブルークレジット®」は、ジャパンブルーエコノミー技術研究組合 [JBE] から独立した第三者委員会による審査・意見を経て、当組合が認証・発行・管理する独自のクレジット

出典：JBE



※カーボン・オフセットフォーラムHP掲載図を基に作成

図 1-1　カーボン・オフセットの概要

豊かな海へ

そしてブルーカーボンの拡大のために2023～
地域＆官民連携

神戸の須磨海岸を 里海に

団体名：すまうら水産有限責任事業組合、須磨里海の会、兵庫県、神戸市

スマ Suma豊かな海プロジェクト

漁場整備（投石礁など）

漁業（ノリ・ワカメ養殖・刺網など）

自分で株付けしたワカメの収穫イベント

浅場整備

兵庫県

神戸市

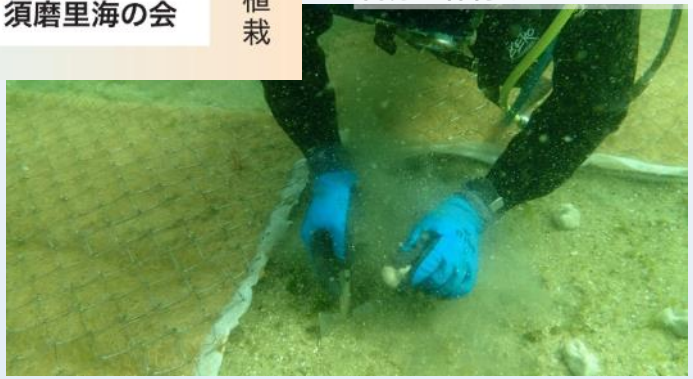
官民連携

すまうら水産

須磨里海の会

養殖・植栽

海岸整備（遠浅化・海ごみ対策など）



環境保全・教育（アサリ増殖・植栽など）

豊かな海へ

藻場のダイバーシティ

神戸の須磨海岸を 里海に

団体名：すまうら水産有限責任事業組合、須磨里海の会、兵庫県、神戸市

スマ Suma豊かな海プロジェクト

Google earth

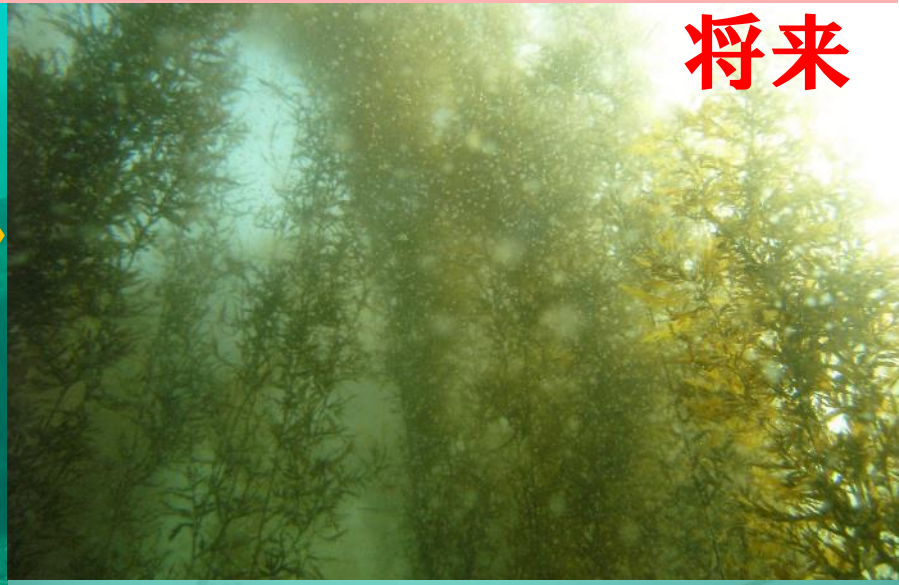
R5年度にJBクレジットとして、合計5.5ｔ-CO2／年が認証

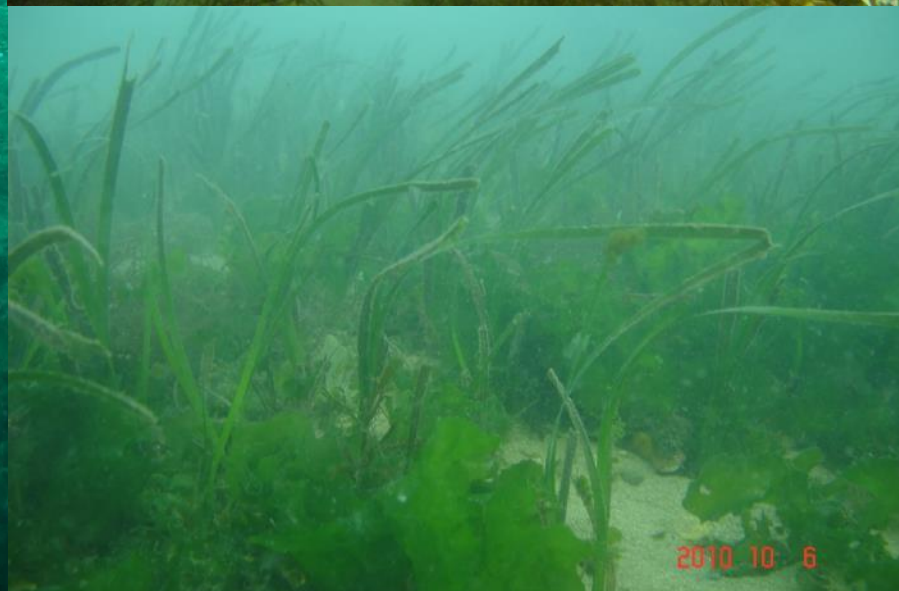
豊かな海へ

【　今年度のJBクレジットの予定　】
R6年11月：神戸の須磨海岸を里海に「Suma豊かな海プロジェクト」が申請
R6年11月～R7年1月：審査会にてJBクレジット対象吸収量を認定
R7年2月～4月：クレジットの販売、JBEのHPにて受付

現在

将来





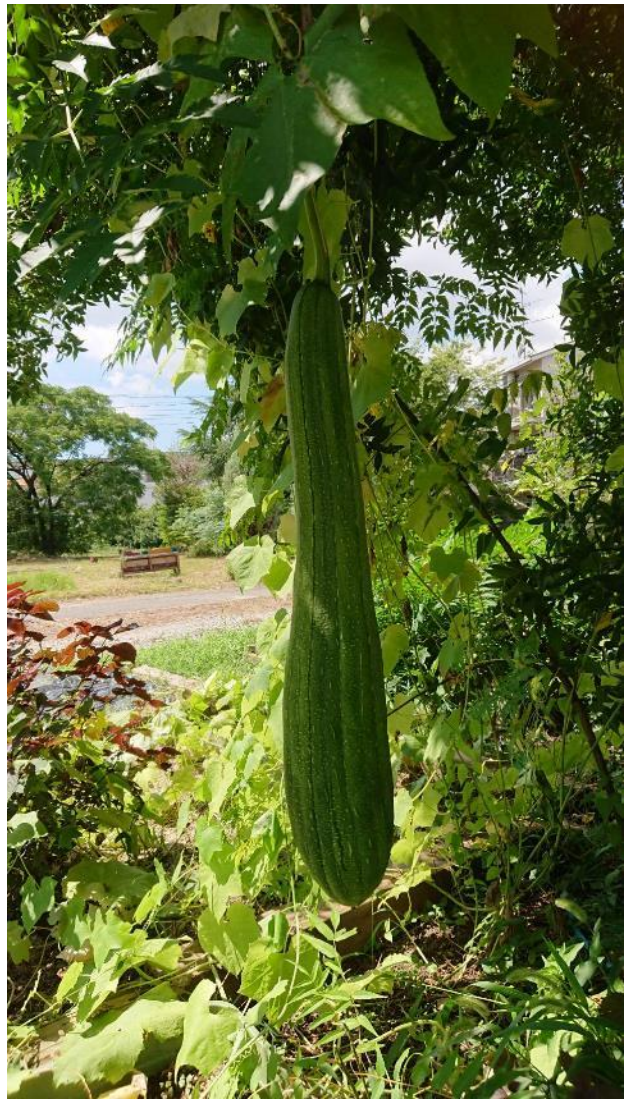
株式会社 毛髪クリニックリーブ21

商号	株式会社 毛髪クリニックリーブ21
本社	大阪市中央区城見２丁目１番６１号
創業	１９７６年８月
代表者	代表取締役　岡村勝正
事業内容	頭髪の発毛施術サービス及び関連商品の販売

⇒ 2018年にSDGs専門部署「SDGs部」を設置し、SDGs活動を開始。

SDGs14「海の豊かさを守ろう」へチマプロジェクト

活動概要



SDGs14「海の豊かさを守ろう」ヘチマプロジェクト

※兵庫県内では、2023年度より開始（神戸市内、多可町内の小学校にて実施）

マイクロプラスチックごみによる海洋汚染問題への対策

食器洗い等でプラスチック製スポンジを使うと、摩耗によって、マイクロプラスチックごみが排出され、やがて海洋へと流出。それを魚が食べ、その魚を人間が獲って食べると、健康への悪影響が懸念されます。

ヘチマたわしを代わりに使う

リーブ21
正真正銘 自分の髪

SDGs14「海の豊かさを守ろう」ヘチマプロジェクト

※兵庫県内では、2023年度より開始（神戸市内、多可町内の小学校にて実施）

SDGsの推進普及・教育プログラム

子供たちと一緒に取り組むことで大人の心を揺さぶり、SDGs普及を目指す！

ヘチマたわしで海の豊かさを守るために

▼

子供たちの協力が必要

ヘチマたわし
使って～

ヘチマたわし、
作ったよ～

SDGs14「海の豊かさを守ろう」へチマプロジェクト

１年間の流れ

SDGs14「海の豊かさを守ろう」ヘチマプロジェクト

４月～６月頃

出前授業、種まき

水遣り、追肥等を経て

１１月～翌年２月頃

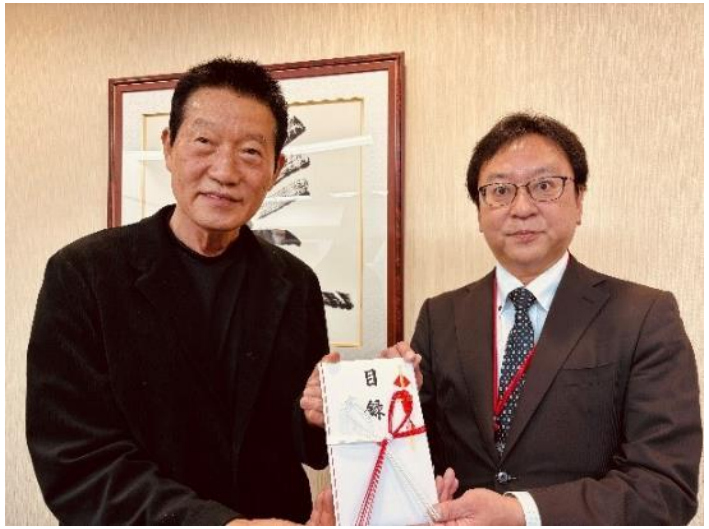
ヘチマたわし作り

SDGs14「海の豊かさを守ろう」ヘチマプロジェクト

翌年1月～3月頃　**ヘチマたわし販売**

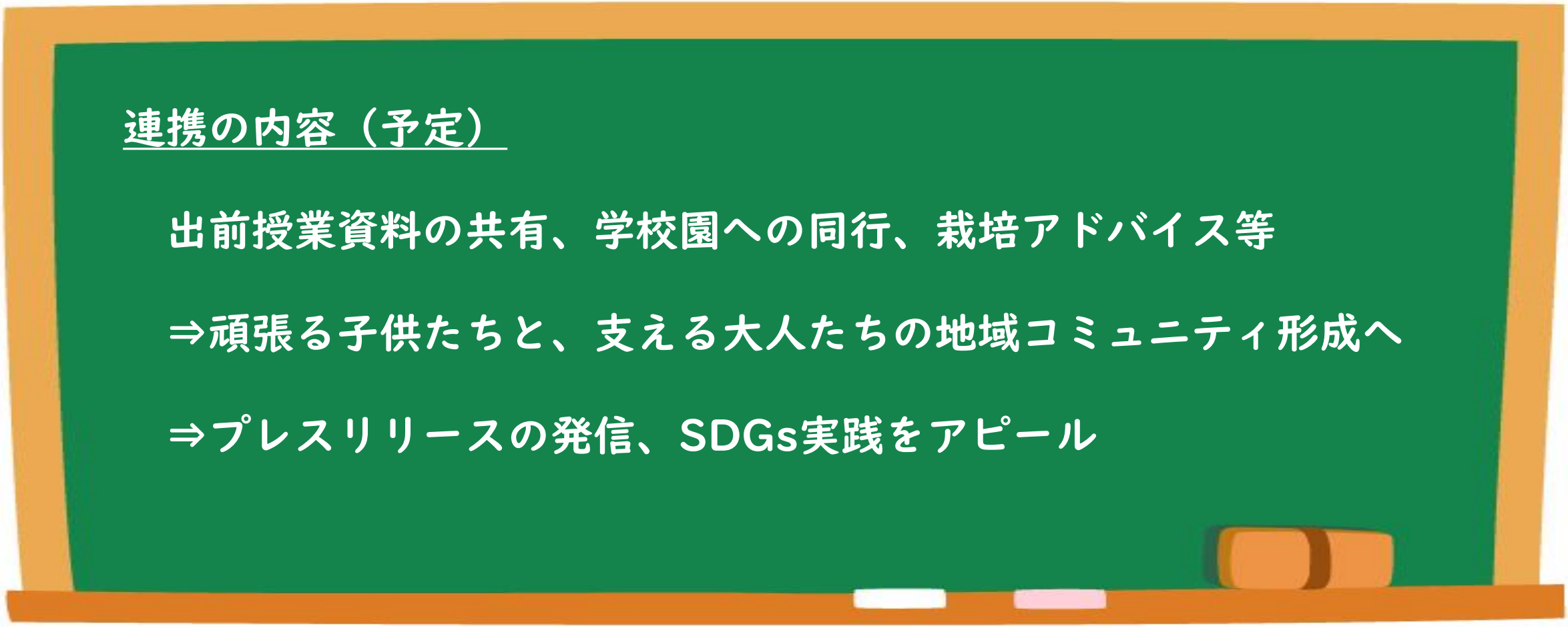
⇒ 子供たちが販売

販売収益を寄付して社会貢献



リーブ21
正真正銘 自分の髪

SDGsの推進・普及のため、
ご一緒に取り組んでいただける企業・団体様を募集しております！



連携の内容（予定）

出前授業資料の共有、学校園への同行、栽培アドバイス等

⇒頑張る子供たちと、支える大人たちの地域コミュニティ形成へ

⇒プレスリリースの発信、SDGs実践をアピール

SDGs14「海の豊かさを守ろう」へチマプロジェクト

ご清聴ありがとうございました。

連携のご検討も宜しくお願い致します。

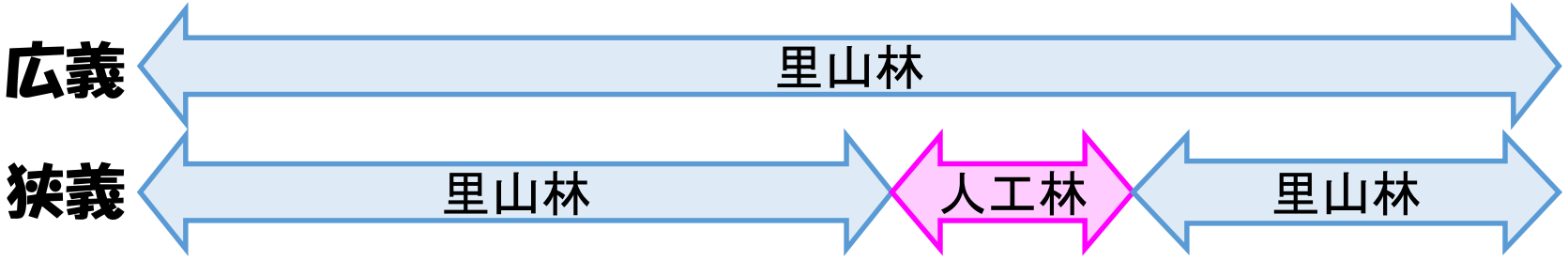
お問い合わせ先
メールアドレス　⇒

企業の森づくり　参加企業募集

ニッスイ社姫路総合工場社員
による森づくり活動

兵庫県農林水産部治山課 森づくり普及班長　井上裕司

里山林と人工林



兵庫県森林林業技術センター作成スライドより引用・編集

植生遷移

かつての里山林
10～20年ほどで伐採を繰り返してきた

草本群落　先駆低木群落　雑木林・夏緑樹林　照葉樹林
（極相林）

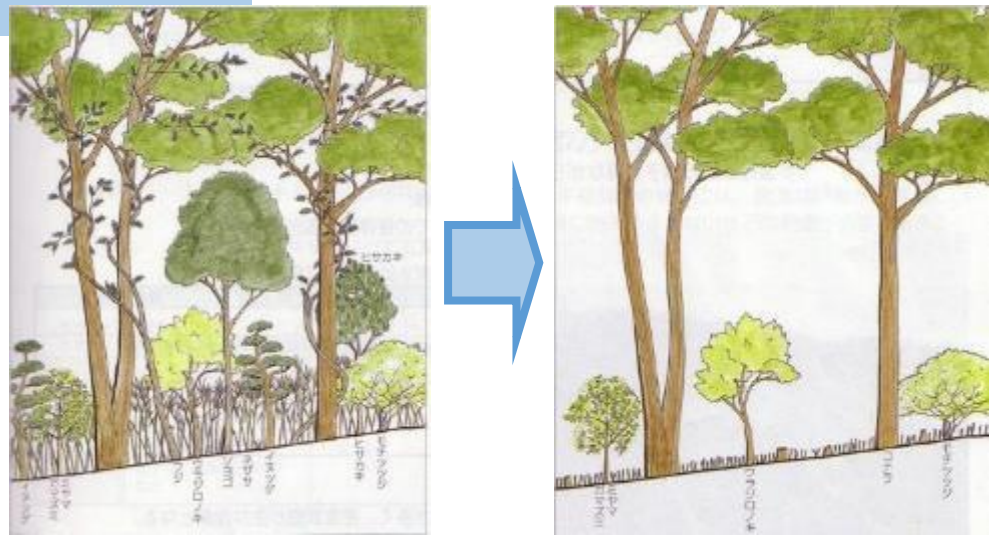
現在の里山林
照葉樹林化が進む

兵庫県森林林業技術センター作成スライドより引用・編集

植生遷移の進行

兵庫県森林林業技術センター作成スライドより引用・編集

兵庫方式による里山林管理



○基本方針

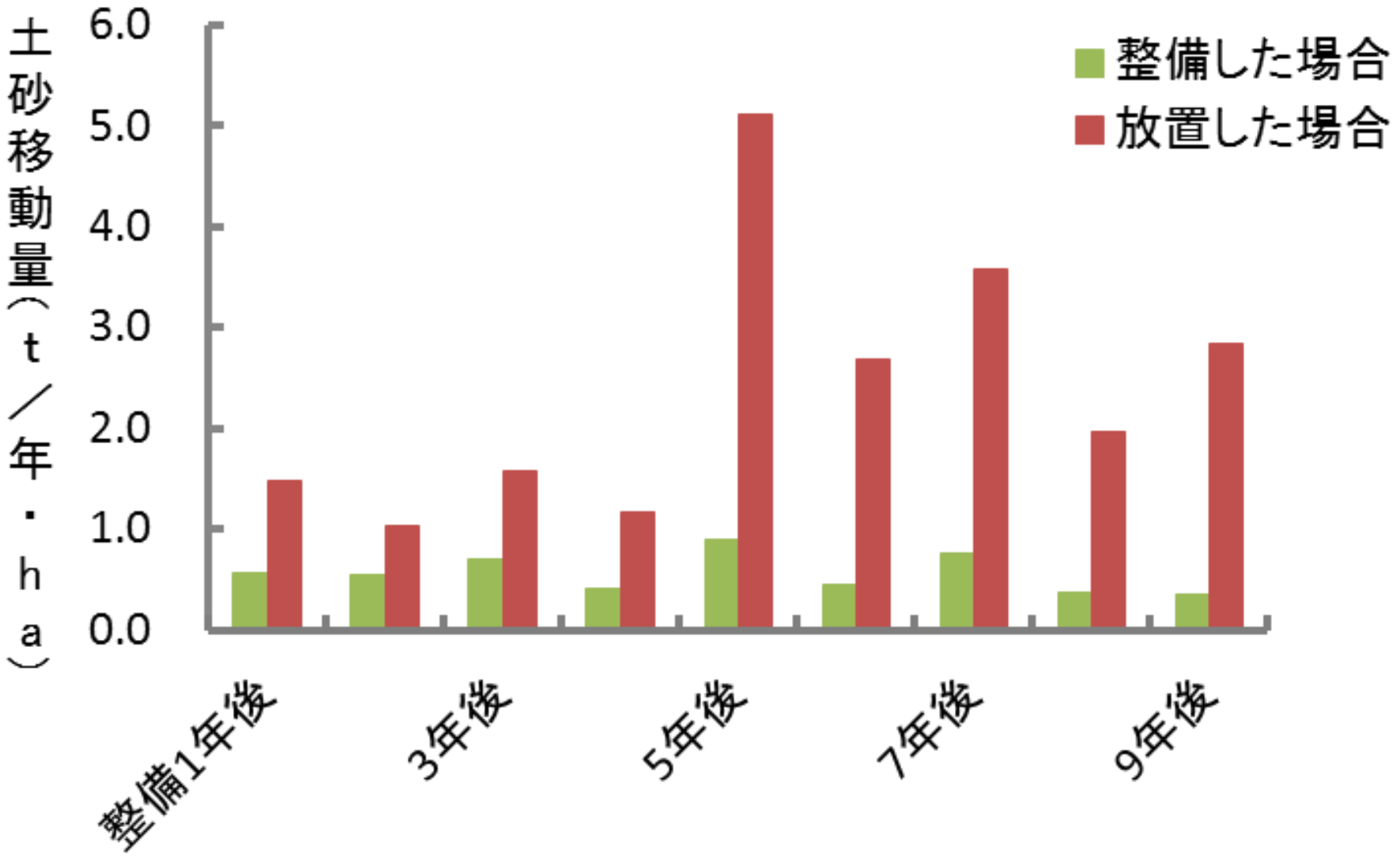
- ｺﾅﾗやｱﾍﾞﾏｷなどの落葉広葉樹の高木から構成される樹林を目標
- 種多様性を阻害している種の選択的除去を基本

○具体的な管理内容

- 亜高木層以下に密生している照葉樹の伐採
- 林床に優占しているﾈｻﾞｻ，ｺｼﾀﾞ，ｳﾗｼﾞﾛの刈り取り
- 林冠を覆い，樹幹を締め付けているﾂﾙ植物の伐採

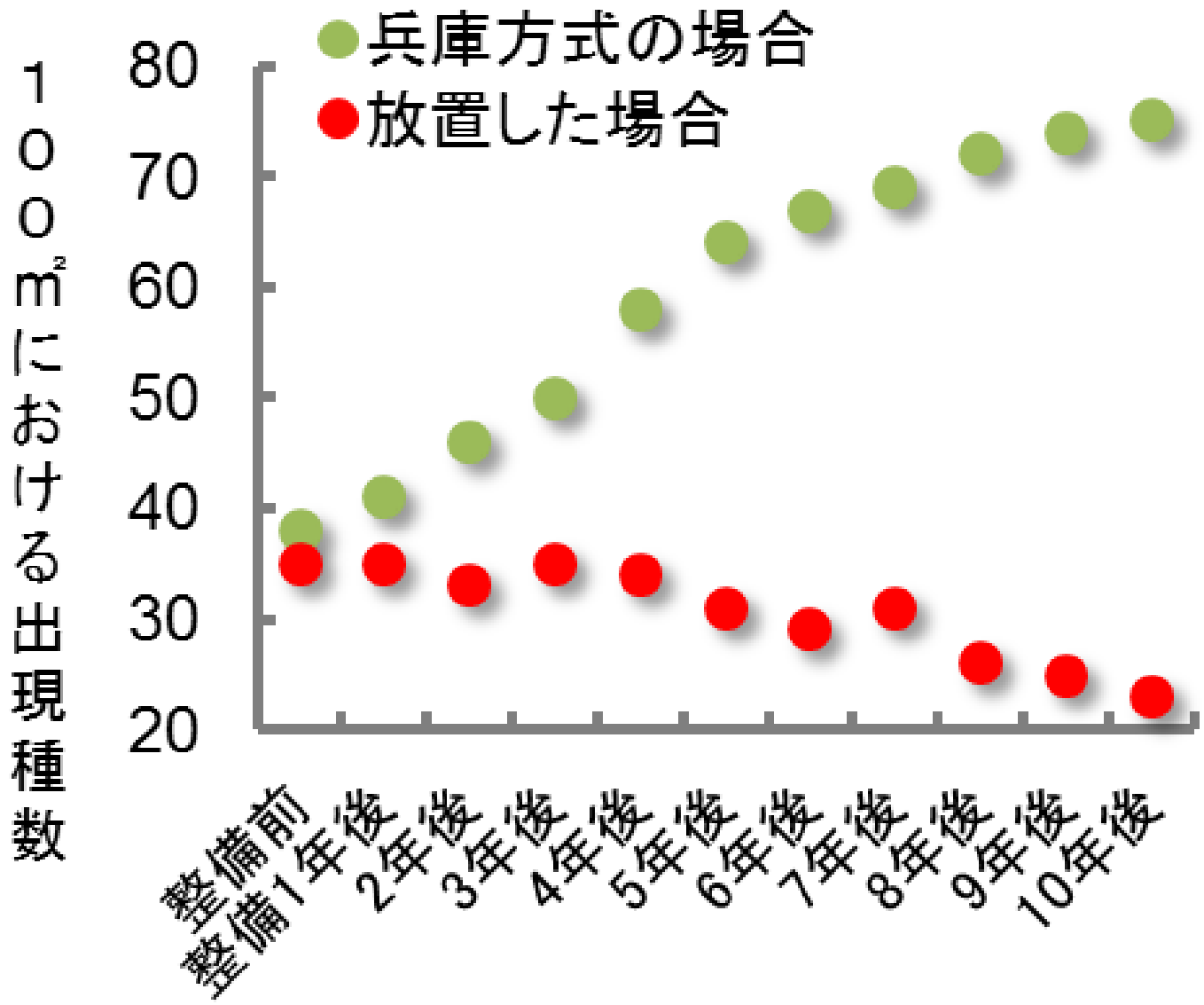
兵庫県森林林業技術センター作成スライドより引用・編集

土砂流出が減少



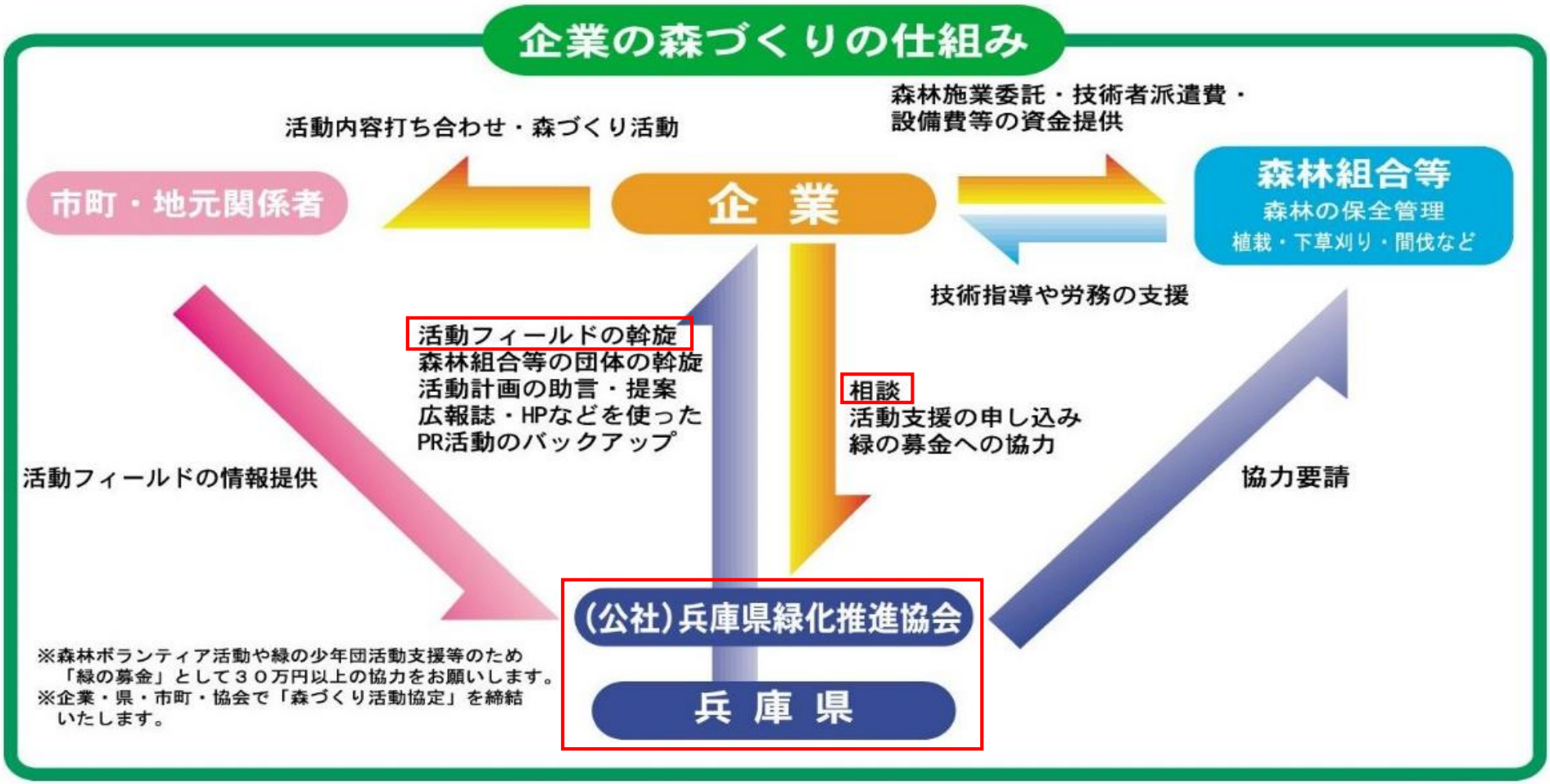
兵庫県森林林業技術センター作成スライドより引用・編集

兵庫方式：生物多様性を高める



兵庫県森林林業技術センター作成スライドより引用・編集

兵庫県における企業の森づくりスキーム



本県では、(公社)兵庫県緑化推進協会と連携して推進しています

企業の森づくり活動への取組に関する協定

企業の森づくり活動への取組に関する協定

○○○○○○株式会社と兵庫県、○○市及び公益社団法人兵庫県緑化推進協会は「新ひょうごの森づくり計画」に基づく県民総参加の森づくりを推進し、地球温暖化防止をはじめ次世代の子供たちによりよい環境を引き継ぐことを目指し、森林保全活動を協働して取り組みます。

○○○○○○株式会社は、地域社会に対する企業貢献として森林保全活動に参画し、水源のかん養、地球温暖化防止等の森林の公益的機能の増進を図る取組を行います。

兵庫県、○○市及び公益社団法人兵庫県緑化推進協会は、○○○○○○株式会社の取組に対し、必要な指導・助言及び保全活動に必要な情報を提供し、ホームページ・広報誌に紹介する等積極的な広報を推進します。

令和　年　月　日

○○○○○○株式会社　代表取締役

○　○　○　○

兵　庫　県　知　事

○　○　○　○

○　○　市　長

○　○　○　○

公益社団法人兵庫県緑化推進協会　会長

○　○　○　○

活動にあたり、企業・県・市町・県緑推協会の四者で協定を締結します

協定締結、森開きなど記者発表を実施

ホーム > 2023年10月記者発表資料 > 株式会社ニッスイとの森づくり活動協定締結

株式会社ニッスイとの森づくり活動協定締結

2023年10月4日

担当部署名／農林水産部治山課森づくり普及班　**直通電話**／090-852-4680(内線4218)

兵庫県では、企業や団体が社会貢献活動の一
このたび、株式会社ニッスイが、兵庫県、姫
に関する協定」を令和5年10月2日付けで締結
平成19年から始まった兵庫県における企業の

1 活動概要
水産資源等を取り扱う同社では、豊かな森が
各地で森林保全活動等に取り組まれています
今回の取組みも、同社の方針をさらに推し進
が、取水している工業用水の水源域に位置す
等を行うものです。

2 活動計画

ホーム > 2023年11月記者発表資料 > 阪急阪神不動産株式会社による「阪急阪神不動産の森」の森開き

阪急阪神不動産株式会社による「阪急阪神不動産の森」の森開き

2023年11月2日

担当部署名／農林水産部治山課森づくり普及班　**直通電話**／078-362-3613

兵庫県では、企業や団体が社会貢献活動の一環として森林保全活動に取り組む「企業の森づくり」を推進しています。
このたび、阪急阪神不動産株式会社は、令和5年7月3日付けで本県、神戸市、公益社団法人兵庫県緑化推進協会と締結した「企業の森づくり活動への取組に関する協定」にもとづき、活動地となる「阪急阪神不動産の森」の森開きを記念して看板除幕式を開催されました。
今後、同社では、社員による森づくり活動をスタートされます。

1 看板除幕式について
(1)日時
　令和5年10月30日（月曜日）10時00分～10時20分
(2)場所
　キーナの森（神戸市北区山田町藍那）
(3)主な内容

企業と調整のうえ、県でリードしながら関係市町と日を合わせて記者発表しています

よろしければ、一緒に森づくり活動をしませんか？

企業の森づくりに関するお問い合わせ先

兵庫県農林水産部治山課森づくり普及班
電　話:078-362-3613
E-mail:chisanka@pref.hyogo.lg.jp

(公社)兵庫県緑化推進協会
電　話:078-341-4070

(公社)兵庫県緑化推進協会ホームページ
企業の森づくりの活動紹介ページQRコード

ご清聴ありがとうございました

ひょうごSDGs Hub ミーティング

（コープこうべの森づくり・社家郷山について）

生活協同組合コープこうべ

地域活動推進部　春長

自己紹介

名前　：　春長　淳一

出身地：　大阪市淀川区

　　現在は川西市に居住

経歴　：　2014年入所　　協同購入センター高槻（地域担当）

　　2017年　　開発・施設管理（不動産管理）

　　2020年　　協同購入センター宝塚～伊丹（地域担当）

　　2022年～現在　地域活動推進部

現在の業務：「募金・地産地消・健康づくり・環境」

社家郷山ってどんな場所？

所在地：
兵庫県西宮市越水字社家郷山1-119（西宮市のちょうど中間地点）

＜選定された理由①＞

日常的に自然との接触が少ないと思われる都市部の人が気軽に訪れて活動ができること

＜選定された理由②＞

従来から環境活動を中心にコープこうべと協力関係にあった「NPO法人LEAF」の活動エリアであり、その活動支援が見込めたこと

コープこうべの森づくりのはじまり

◆レジ袋代金使途の考え方や方針

レジ袋代金の使途に関する考え方
（１）**「環境の取り組み」に活用**すること
（２）組合員にもわかりやすいよう、できるだけ**１つの使途に集中的して活用**すること

※大切にした視点

①マイバッグ運動に参加する**組合員自身が誇りを持てる、社会的に有益な**使途に

②未来や次世代に貢献する**継続性のある**取り組みに

③組合員の**環境に対する意識を高め、**子どもから大人まで**自然体験や食育に関する学びの場になること**

④NPO法人などの**地域団体との連携**や、森林組合や漁連といった**協同組合同士のつながり**をつくる場に。

社家郷山について紹介（空から見た社家郷山）

社家郷山のキャラクター
「もりんちゃん」

西宮市の市街地

社家郷山について（拡大）

しゃけごうやまの
もりんちゃん
コープの森・社家郷山
山・川・海・まち（人）の
つながりを学ぶ
四季の道
キャンプ場
森林整備エリア
Bサイト
ファイヤー場
炊飯棟
Aサイト
管理棟
トイレ
長谷原
かぶとやま荘
六甲保養荘
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

社家郷山について（四季の風景）

春

夏

秋

社家郷山について（活動方針）

（※画像は明るい森のイメージです）

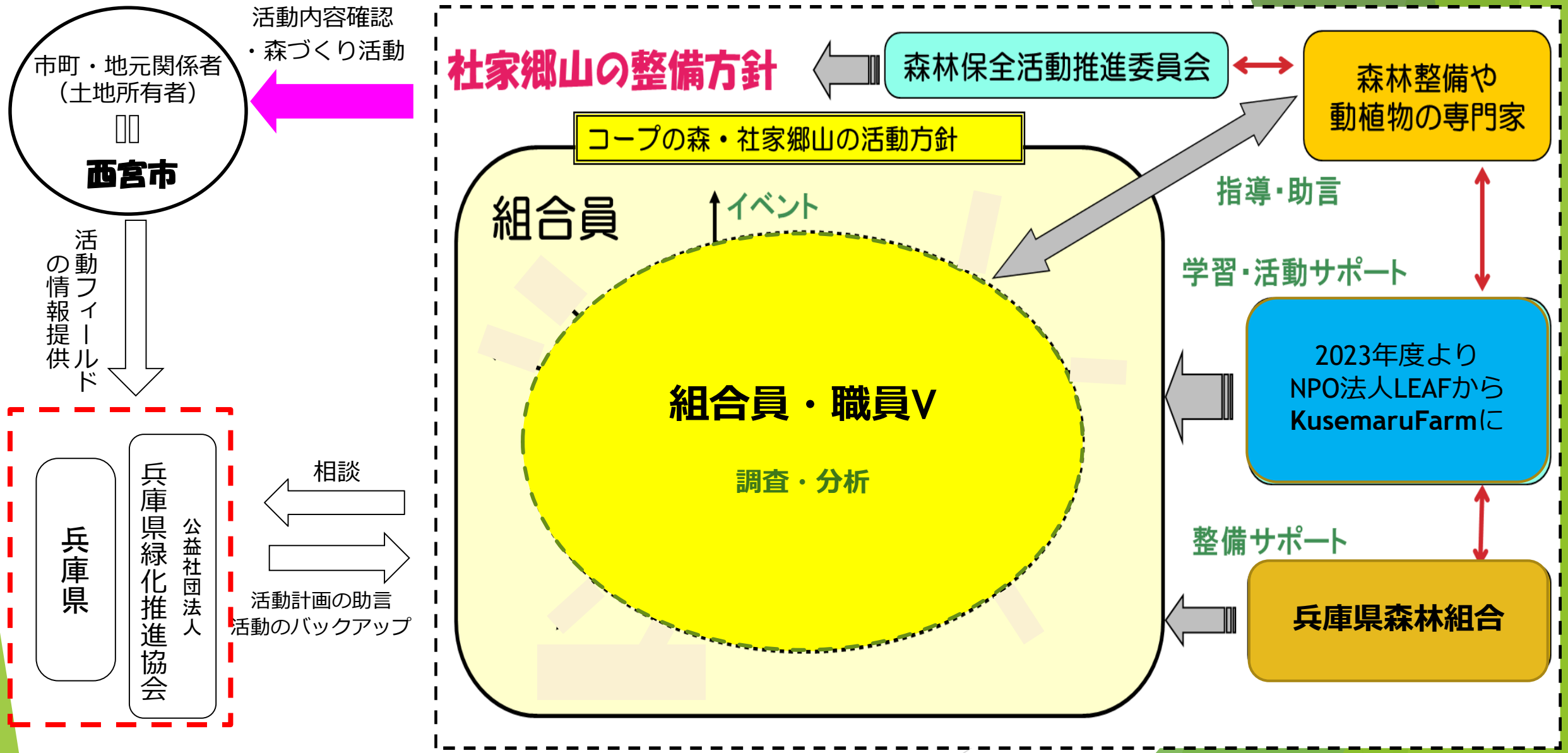
①社家郷山では雑木（常緑樹、笹、ウラジロなど）が生い茂り、地表に光が届かない。そのため多様な植物や生き物が生育せず森の発展が無い状況であった。

②木を植えるのではなく木を切ることで太陽の光が森の奥まで届くようにし、暗い森から明るい森にする。

③そうすることで、多様な植物や生き物が育つ豊かな森をめざしている。

社家郷山の運営体制

コープこうべと各所団体との関わりについて



社家郷山の取り組みについて

社家郷山では、除伐材で井げたの枠を作って
枝葉を細かくカットして集積

職員・組合員ボランティアによる森林整備活動

四季の道の常緑樹の除伐や整備、長谷原広場の草刈り等

新たなボランティアにレクチャーし
常緑樹を中心に除伐

職員・組合員ボランティアによる森林整備活動 のはじまり

2009年に、西宮・芦屋エリアで熱心に活動されていた組合員や
組合員理事にお声がけし、社家郷山の組合員ボランティアを結成。

職員ボランティアとともに森林整備活動をおこなう。

職員・組合員ボランティアによる森林整備活動 について

＜1日のスケジュール＞

9：00　集合

9：10　除伐作業の道具の確認、装着・準備体操

9：15　四季の道に入山　除伐作業エリアまで移動

9：30　除伐作業　開始

～～

12：00 除伐作業　終了　写真撮影

12：15 四季の道　下山　終了

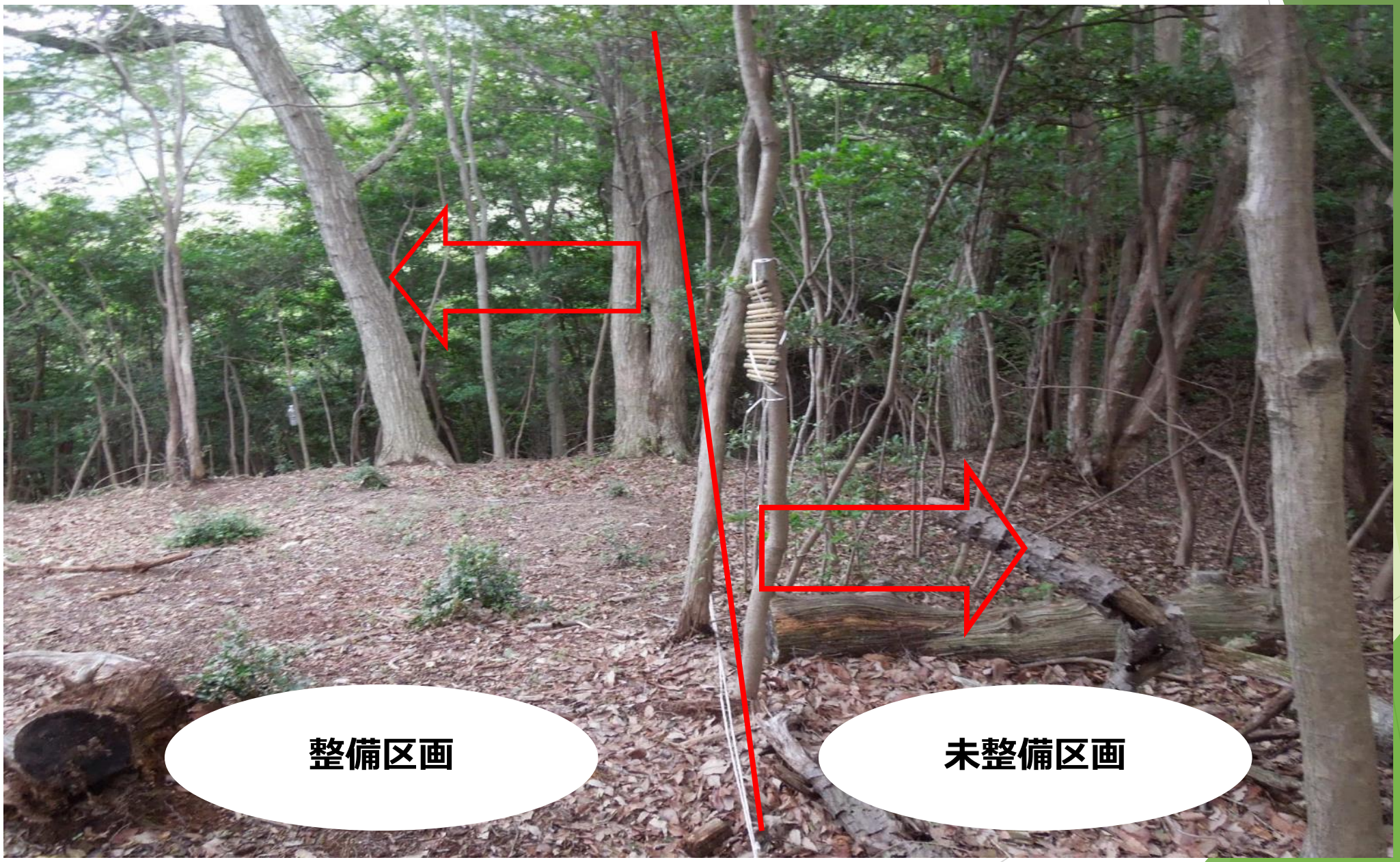
＜ボランティア活動の呼びかけ＞

●職員V：毎月1回（年間12回開催）職員用SNSで呼びかけ。

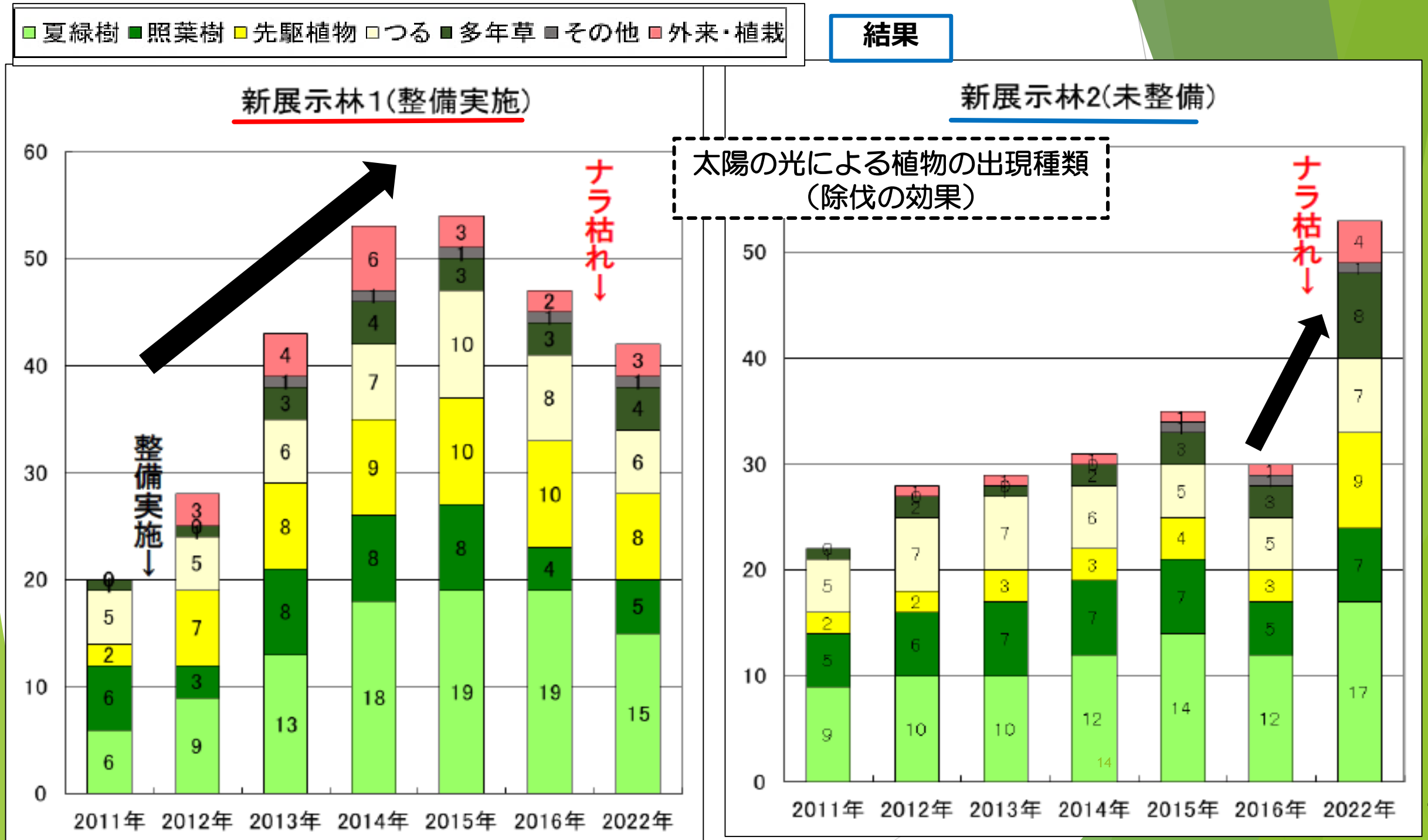
毎回、8－10人程度、自主で参加

これまでの成果

職員・組合員ボランティアにより除伐作業の効果



結果


夏緑樹 照葉樹 先駆植物 つる 多年草 その他 外来・植栽
新展示林1(整備実施)
整備実施→
ナラ枯れ→
新展示林2(未整備)
太陽の光による植物の出現種類
（除伐の効果）
ナラ枯れ→
2011年 2012年 2013年 2014年 2015年 2016年 2022年

これまでの成果

森林整備活動を通して・・

ヒメヘビイチゴ

整備地では兵庫県版レッドデータブック2020のＡランク種**「ヒメヘビイチゴ」の生育が確認**されるなど、絶滅危惧種の保全にも力を入れている。

コバノミツバツツジの群生

兵庫県版レッドデータブック2020（植物・植物 群落）』においても、「Cランク（兵庫県内において存続基盤が脆弱な種

これまでの成果

職員の森林ボランティアの参加

①月１回程度の頻度でこれまで**計220回**の整備活動を実施

②これまで**延べ1,500人以上**が自発的に育樹活動に参加。

イベント・学習会への参加

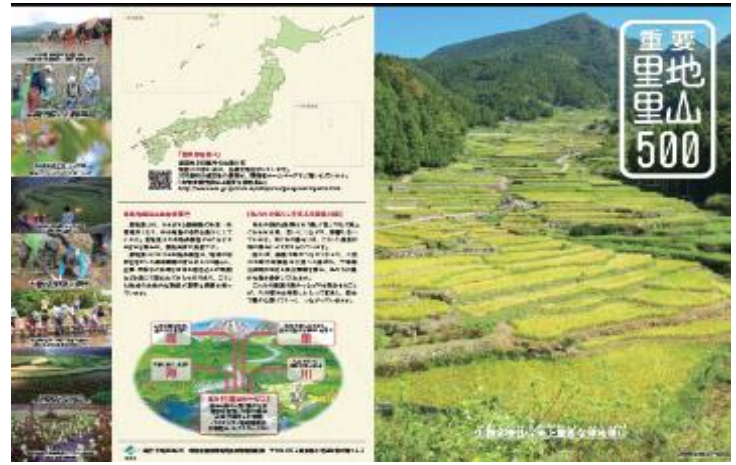
①組合員向けに体験イベントを主催し、**延べ11,584人**の組合員の参加

②組合員の自主活動グループを積極的に支援し、育樹活動の普及にも注力

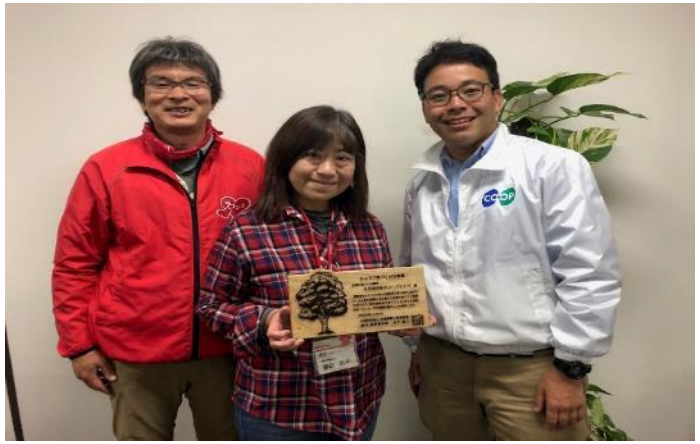
これまでの成果

＜表彰＞

・2015年環境省による「生物多様性保全上重要な里地」として環境省の**「重要里地里山500」**に選出



・2019年**「ひょうごの森づくり活動賞」**受賞



・**2023年全国育樹活動コンクールで「林野庁長官賞」を受賞**

社家郷山のこれからについて（2018年からの10年間）

現状

◆ 貴重な動植物の発見や、生物多様性保全へ一定貢献している。

◆ 森林整備の意味、またくらしと山のつながりを楽しく体感しながら学ぶプログラムのベースはできている。

◆ 社家郷山に思いを寄せて活動するコアメンバーも一定定着

今後の課題

◆取り組みが内向的になりつつあり、新たな関与者が少ない。

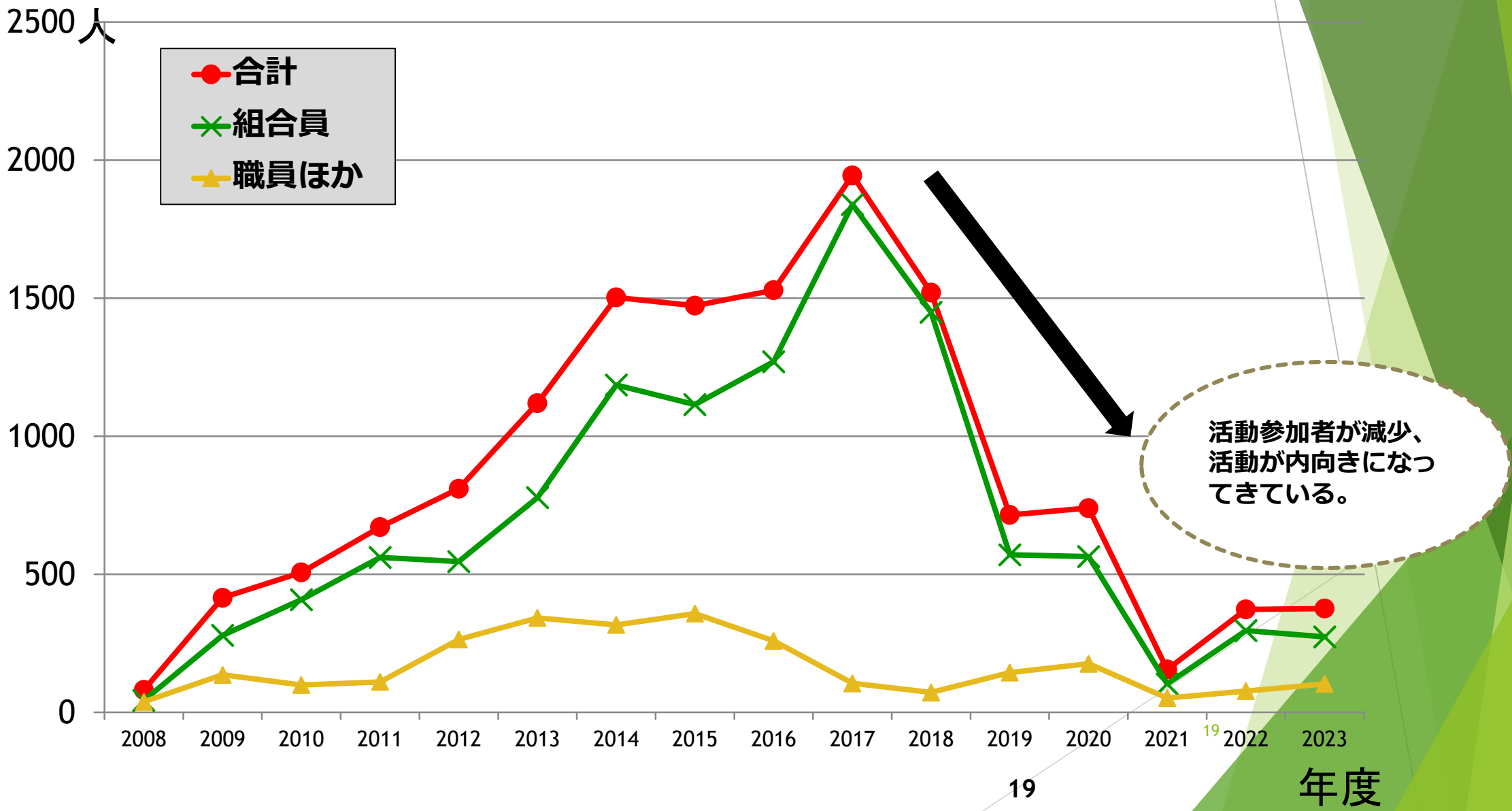
◆「３０ｂｙ３０」等の国際的な制度や指標を活用しながら取り組みの見える化を図っていく。

◆バスの路線廃止、近隣の宿泊施設が閉鎖されるなど活動参加の制約が多い

◆これまで単発の講座を実施していたが連続シリーズの企画を考え、参加者に森への理解をより深めてもらう必要、継続しての参加を進めていく。

今後の課題

コープの森・社家郷山に森林整備やイベント関わった組合員・職員は、延べ13,000人という数字であるが・・・



社家郷山 森づくり
活動ボランティア募集中

社家郷山とは？

西宮市街地から車で20分ほどの距離にあり、多様な動植物・水辺・草地・岩場など様々な自然が育まれる豊かな森です。
森と私たちのくらしは密接につながっており、森の保全・整備活動を通じ、環境学習を体験的に楽しく学ぶ場となっています。

社家郷山のボランティアはこのような活動です。

常緑樹の除伐や草刈り等の森林整備を行っています。

木を切ることで太陽の光が森の奥まで届くようにし、暗い森から明るい森にすることに取り組んでいます。

自然の中で体を動かすとカラダもココロもリフレッシュされますよ♪
ご家族や友人同士での参加もＯＫ。
１度社家郷山に遊びに来ませんか？
ご参加お待ちしております

※日程・申し込み方法は
裏面をご覧ください

【2024年度　社家郷山活動スケジュール】

日程	
2024年度	①　5月19日（日）
	②　6月16日（日）
	③　7月21日（日）
	④　9月15日（日）
	⑤ 10月20日（日）
	⑥ 11月17日（日）
	⑦ 12月15日（日）
	⑧　1月19日（日）
	⑨　2月16日（日）
	⑩　3月16日（日）

〒662-0006
西宮市越水字社家郷山1-119

【現地拡大図】

（さくらやまなみバス「甲山高校前」下車 北に徒歩１５分、またはお車でお越しください。）

対象　どなたでも
※小学生以下のお子様は保護者の同伴をお願いします。

定員　各回 10名程度
（※ 臨時駐車場の駐車台数に制限があるため、毎回事務局より上記日程の開催前にご案内メールをお送りいたします。）

時間　9：15 ～ 12：30

申込み　右のＱＲコードを読み取り、必要事項をご記入ください。（登録フォーム）

その他
①天候不良等で開催が中止となった場合、事務局からは、コープこうべアプリ「ルーム」にてご案内をさせていただきます。
②アプリをお持ちの方は、ルーム機能で「コープの森・社家郷山」の右上の〝タッチする〟をおしてください。

①コープこうべアプリのホーム画面

②「コープＴＯＵＣＨ」の

③「ルームでタッチ」の画面へ

コープこうべアプリを入手し「ルーム」を見てみよう！

生活協同組合コープこうべ　地域活動推進部
〒６５８－８５５５　神戸市東灘区住吉本町１丁目３－１９
電話：（０７８）８５６-１１０５
受付け時間：平日９：００～１７：００※土・日・祝日はお休みです

今後の課題

活動がより伝わる・広がるように外部への情報発信が必要。

西宮市と連携し、「自然共生サイト」への登録をめざしていきたい。

（引用元：環境省HP）

最後に

コープこうべは、

・「兵庫県 企業の森づくり制度」の第1号

・組合員を巻き込んだユニークな活動取り組みがある。

引き続き、生き物の多様性を保全する重要な拠点として森林整備活動を継続していきます。

県産木材利用とSDGs

～県産木材の利用に関する補助金の申込企業募集～

兵庫県農林水産部林務課　桑辺七穂

ひょうごSDGsHubミーティング

令和6年10月21日（月）15：00～17：00

✓ 兵庫県の基本情報

森林面積　：約　５６万 ha・・・全国 14位
森林率　　：約　６７％　・・・全国 26位
人工林率　：約　４３％　・・・全国 28位
素材生産量：約 ３０万m3 ・・・ 近畿圏内 1位

✓ 特徴

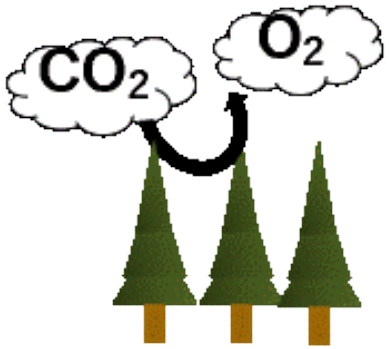
・県中部から北部にかけて森林率が高く、その大部分が
　建築用材に使用されるスギやヒノキなどの人工林となっている。

・県南部は、都市部が広がり、森林率が低い。
　里山林（広葉樹林）が多い。

森林の持つ多面的機能

地球温暖化の防止

・二酸化炭素を吸収し、酸素をつくる



土砂流出防止

・樹木が根を張り巡らすことによって山腹崩壊を防ぐ

・下層植生や落ち葉などが地表の浸食を抑制する

水源涵養機能

・ 森林の土壌が雨水を貯蓄し、川の流量を安定させる。

・雨水が森林土壌を通過することにより、水質を浄化する。

生物多様性の保全

・多様な生物の住処となる

・遺伝子や生物種、生態系を保全する根源的な機能

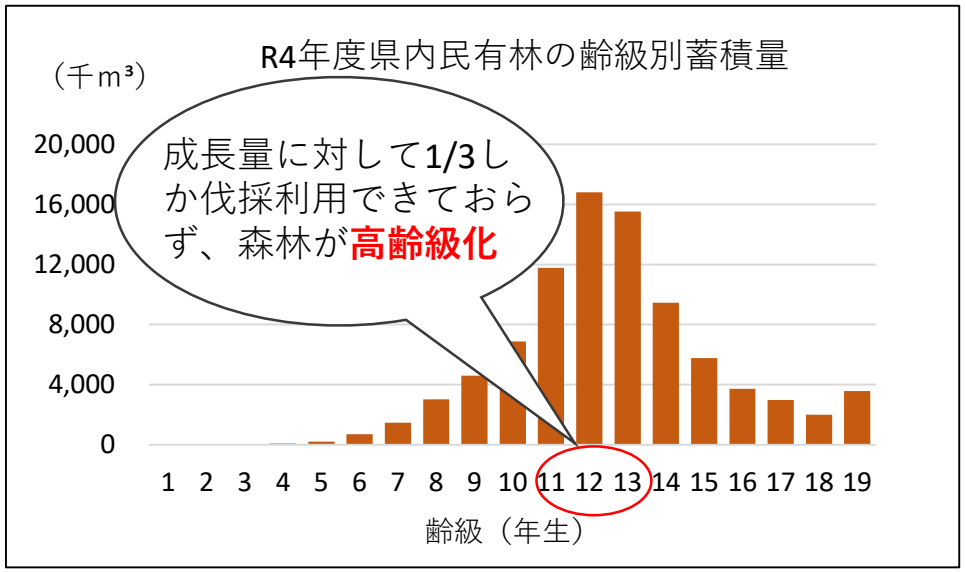
健全な森林を保つために

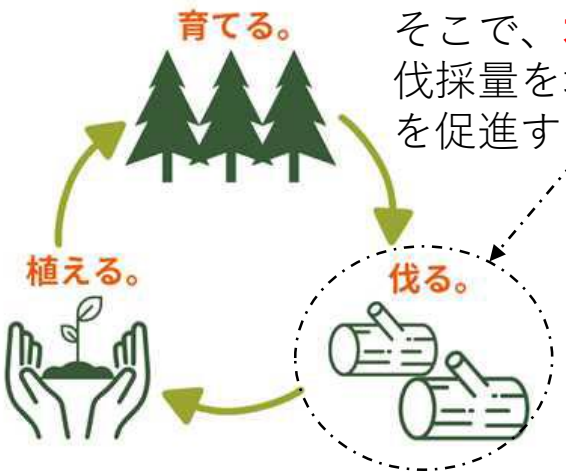
間伐等の森林整備を行う

・倒木被害や土砂災害を引き起こす
・森林の持つ機能が十分に発揮されない

災害に強く、様々な機能を発揮する

しかし、兵庫県を含む日本の森林の状況は…





そこで、**木材利用**をすすめ、伐採量を増やし、資源循環を促進することが重要

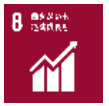
「ひょうごの木」を使うことで、兵庫の森林を保全することができる

木材利用の例：建築物や小物や什器への利用

県立総合射撃場

セイバンスマイルこども園

森林を利用することは、SDGsの達成にも貢献する

森林の持つ機能・木材利用による効果	SDGs目標
土砂流出の防止、水源涵養機能	目標6　安全な水とトイレを世界中に 目標11　住み続けれるまちづくりを
地球温暖化の防止	目標13　気候変動に具体的な対策を
生物多様性の保全	目標15　陸の豊かさを守ろう
林業、木材産業の成長と雇用創出	 目標8　働きがいも　経済成長も
建築物や什器等へ木材を使うことで、 建物や木製品そのものに**<u>炭素が貯蔵</u>**される。	目標13　気候変動に具体的な対策を
鉄やコンクリートなどの他素材と比較し、 生産時の**<u>環境負荷・コストの低減</u>**に繋がる （特に地元の木材）	目標7　エネルギーをみんなに そしてクリーンに
施設の内装に木材を利用することで、木材の持つ リラックス効果や集中力向上の効果等が発揮され、 利用者の**<u>働きやすさ</u>**につながることが期待される。	目標8　働きがいも　経済成長も

県の補助事業の紹介

ひょうご木の街木質化推進事業

兵庫県産木材を使った木質化の取り組みを支援します

１．対象となる施設

① 多くの県民の利用が見込める施設
（施設利用者数が概ね300人/日以上で、不特定多数の県民が利用する施設）

② 公益性の高い施設
（教育施設や社会福祉施設、医療施設、運動施設、社会教育施設、交通拠点施設）

２．補助金額

県産木材を利用した木質化にかかる工事費あるいは木製品購入費等の1/3以内（上限：200万円）

室内木質化
R4キッピーモール

室内木質化
R5イオンモール神戸南

屋外木質化
R4一般社団法人Meister

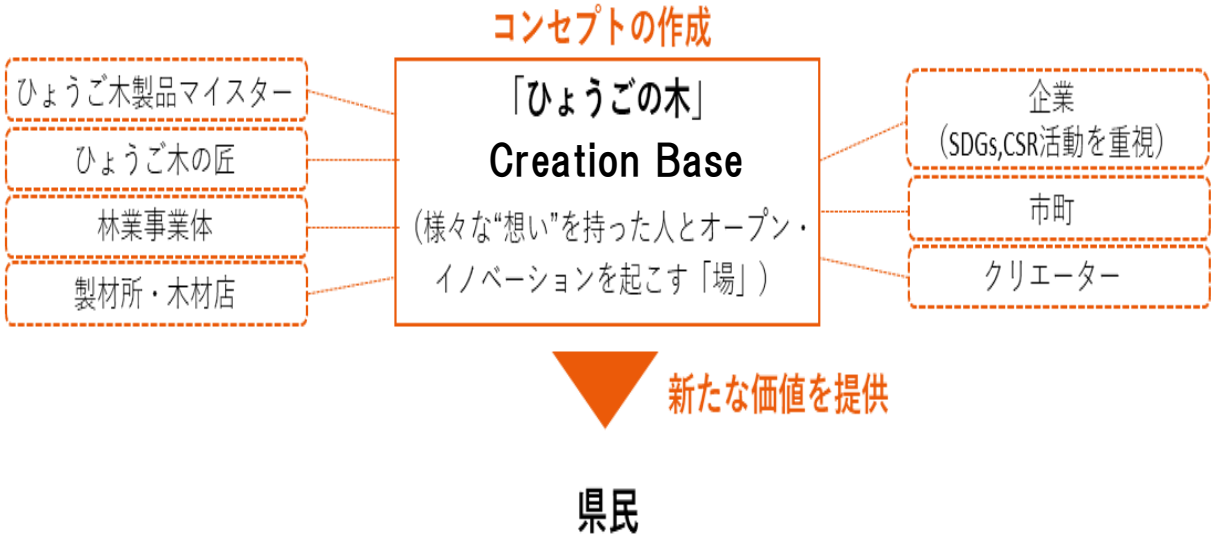
木製品導入
R5瑠璃こども園

「ひょうごの木」Creation Base

多くの人々に “兵庫県産木材“ に興味を持ってもらいたい。より応援消費を促したい。

そこで、異なる業種・分野・文化の視点を持った企業等とともに…

「ひょうごの木」の**ブランディング**や**新たな価値**を模索、
「ひょうごの木」を使った新商品の企画や、普及啓発イベントの企画を検討
の場として設置



第1回ミーティング 2024年8月19日の様子

※第2回ミーティング 2024年11月19日（火） 実施予定

「ひょうごの木」ホームページ

✓ひょうご木製品マイスター
県産木材を使った木製品の製作する事業者

✓ひょうご木の匠
積極的に県産木材を利用して
住宅を建てる意欲のある工務店

✓ひょうごの木に関わる方々の取材コラム

✓補助制度の紹介

✓施設の木造・木質化事例紹介

など様々な情報を掲載しています。

「ひょうごの木」ホームページ画面

Hyogo Prefecture

令和６年度
兵庫県の脱炭素に関する取組・補助制度のご案内

兵庫県環境部環境政策課

兵庫県地球温暖化対策推進計画の推進

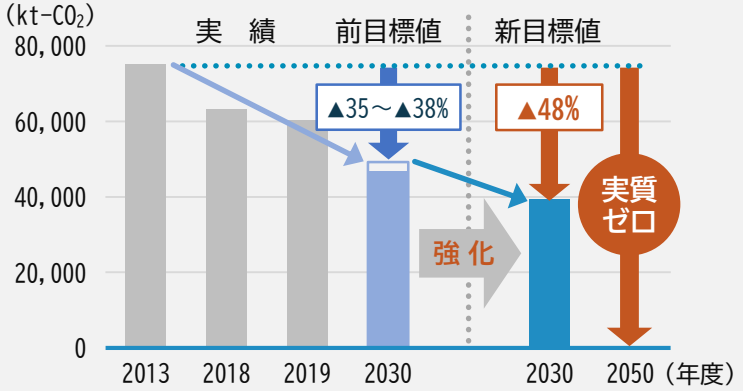
兵庫県地球温暖化対策推進計画の推進

2050年カーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）の実現に向け、地球温暖化対策推進計画（R4.3改定）において、2030（R12）年度の温室効果ガス削減目標を2013（H25）年度比▲48%、2030（R12）年度再生可能エネルギー導入目標を100億kWh（再エネ比率約30%）としている。

地球温暖化対策推進計画（R4年3月改定）

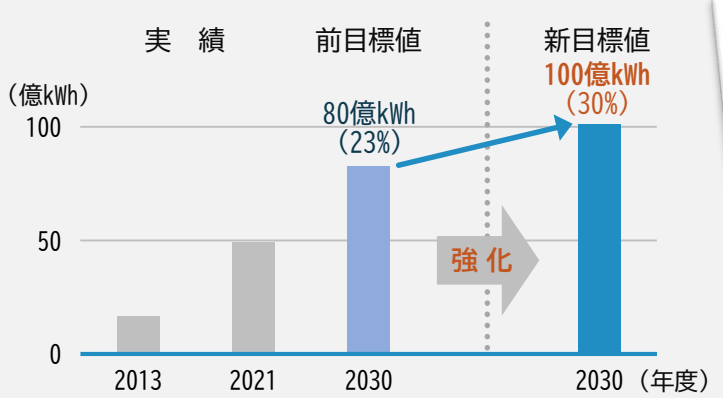
1 温室効果ガス削減目標

「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」をゴールとし、2030年度 48%削減（2013年度比）の達成を目指す。



2 再生可能エネルギー導入目標

2030年再生可能エネルギーによる発電量 100億kWh（再エネ比率約30%）を目指す。



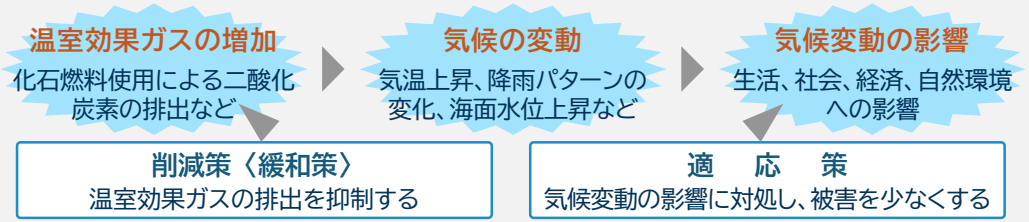
兵庫県地球温暖化対策推進計画
ＰＲ用パンフレット

気候変動への適応策の推進

温室効果ガスの排出を抑制する「削減策（緩和策）」を基本としながら、県民や事業者向けにフォーラム等の開催やHP等を活用した気候変動情報の提供など気候変動に関する「適応策」の取組を一体的に推進する。

気候変動と削減策（緩和策）・適応策の関係

※環境省資料を元に作成



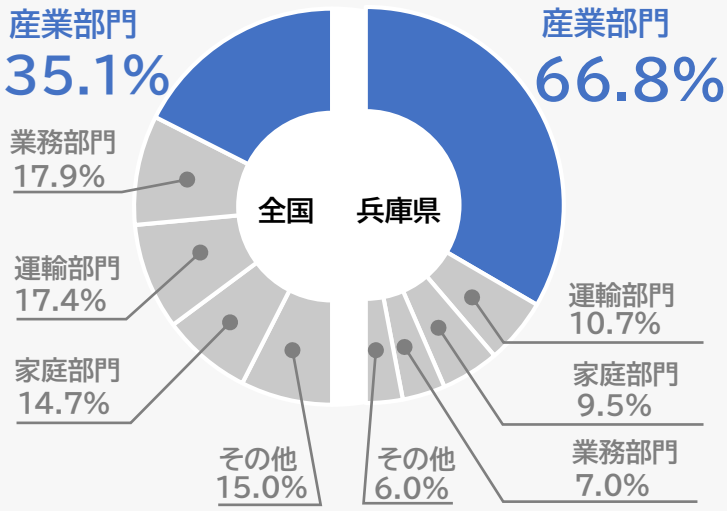
中小事業者のカーボンニュートラルに向けた兵庫県の取組

県内の温室効果ガス(GHG)排出量の約7割が産業・業務部門からの排出であり、近年、サプライチェーン全体での脱炭素を目指す動きも活発化していることから、資金や人的資源に乏しい中小事業者に対して段階に応じた支援を実施

中小企業におけるカーボンニュートラルの取組ステップ

カーボンニュートラルについて知る	CO_2排出量を把握する	CO_2削減に取り組む	情報発信
STEP 0	STEP 1	STEP 2	STEP 3
●脱炭素経営セミナー ●脱炭素経営スクール(P.4)	●GHG排出量算定サービス導入補助(P.5)	●PPA方式等による太陽光発電導入補助事業など(P.6～)	●温暖化対策推進計画取組加速 ●金融機関等と連携した普及啓発(P.10)

温室効果ガス部門別排出量(2021年度)



本県の特徴として、産業部門からの排出量が約67%を占めており、産業部門の取組が温室効果ガス排出量に大きく影響を与える。

部門		2021年度 排出量(kt)	構成比(%)	13年度比(%)
エネルギー起源二酸化炭素	産業	40,502	66.8	▲15.5
	運輸	6,494	10.7	▲20.1
	家庭	5,745	9.5	▲31.3
	業務	4,256	7.0	▲37.6
その他		3,626	6.0	▲7.6
排出量		60,623	100	▲19.4

ひょうご脱炭素経営スクール（R6新規）

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、自社の脱炭素だけでなく、サプライチェーン全体でCO2排出量の見える化や脱炭素化を目指す動きが拡大している。

どのように脱炭素に取り組めばよいか分からない県内中小企業向けに、脱炭素経営スクールを開校し、脱炭素経営のポイントや実践的手法について学び、企業の自主的な脱炭素化の取組を推進する。

開催回数

年間８回程度（連続講座として実施）

プログラム

	開催日		内　容
第１回	８月２日（金）		公開講座「脱炭素経営セミナー」★
第２回	９月４日（水）	座学	開校式 座学①脱炭素経営動向、排出量把握のポイント
第３回	９月19日（木）		座学②目標設定の考え方を知る
第４回	10月24日（木）		座学③対策の手法を知る
第５回	11月ごろ		中間発表
第６回	12月ごろ	演習	演習①対策について考える
第７回	1月ごろ		演習②社内体制・社外PRについて考える
第８回	2月ごろ		演習③検討結果プレゼン・フィードバック
	3月ごろ		修了成果報告会

対象・定員

県内の中小事業者（経営者層を想定）・20社程度→R6年度23社申込

【公開講座「脱炭素経営セミナー」】

1.日時
令和6年8月2日（金）
15時～17時（14時30分より受付開始）

2.会場
ラッセホール5階ハイビスカス

3.参加方法
現地またはオンライン配信

4.対象者
兵庫県下の脱炭素経営に関心のある経営者・ご担当者約80名参加

5.プログラム
■講義1「脱炭素を経営課題に活かす」
■講義2「脱炭素でチャンスをつかむ -1.5℃ロードマップ-」
■その他
兵庫県・神戸市の取組紹介
ひょうご脱炭素経営スクール紹介

中小事業者に対するサプライチェーン排出量算定支援

- 中小事業者は、Scope3の排出量の算定に必要な人員が不足していることから、**排出量の算定に係るサービス利用料の一部を補助**することで、事業者の脱炭素経営を支援

- **補助対象**
  温室効果ガス（GHG）排出量の把握・削減に資するシステム算定サービスの利用
  ※サプライチェーン排出量(Scope3を含む)算定できるプランが対象
- **補助対象**
  県内中小事業者（前年度のエネルギー使用量が原油換算1,500kL未満）
- **補助額**
  システム月額利用料の１／２（上限１万円）

申込期限　令和６年１２月２０日(必着)

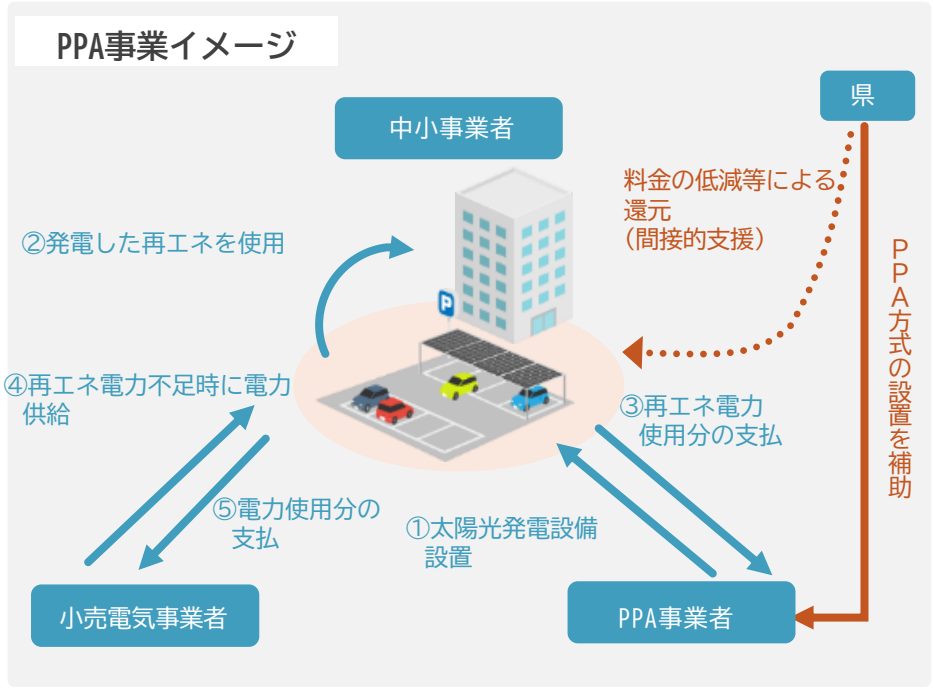
Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出
（燃料の燃焼、工業プロセス）
Scope2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
Scope3：Scope1、Scope2以外の間接排出
（事業者の活動に関連する他社の排出）

PPA方式を活用した太陽光発電の導入促進

PPA※方式による県有施設の駐車場等への再エネの導入

- 県内企業等への普及拡大に向け、初期投資なしで再エネの導入が可能なPPA方式を活用したカーポート型等の太陽光発電設備を先行的に県施設へ設置
- 当事業で得たノウハウをマニュアル化し、県内市町等に展開

※PPA：第三者所有モデル（Power Purchase Agreement）



［県施設でのPPA方式による太陽光発電設備導入施設］

施設名	所在地	設備形態	発電出力（kW）	供給開始
①広域防災センター	三木市	カーポート	99	R5
②農林水産技術総合センター	加西市	カーポート・屋根	217	R5
③淡路農業技術センター	南あわじ市	カーポート・屋根	90	R5
④森林動物研究センター	丹波市	屋根	25	R4
⑤丹波医療センター	丹波市	カーポート	300	R5
⑥教育研修所	加東市	屋根	30	R4
⑦姫路警察署	姫路市	カーポート	100	R5
計			861	

県施設へのPPA方式太陽光発電（左：加西市、右：三木市）

PPA方式による中小事業者への再エネ導入の促進

- 再エネ導入目標100億kWh（2030年度）を達成するためには、今後、約222万kW（住宅用26万kW、非住宅用196万kW）の太陽光発電導入が必要。
- 中小事業者による再エネの導入を促進するため、**PPA又はリースによる自家消費型（蓄電池との併設）の太陽光発電の設置を加速化**し、都市部への再エネの誘導を進める。

区分	県補助事業 「持続可能な兵庫づくり基金」活用事業	国補助事業 ストレージパリティの達成に向けた 太陽光発電設備等の価格低減促進事業
事業スキーム	国のｽﾄﾚｰｼﾞﾊﾟﾘﾃｨ補助金への上乗せ補助	PPA方式等による事業者の再エネ導入支援
設置手法	PPA・リース	PPA・リース・自己設置
補助対象	県内の中小事業所	国内の事業所
対象設備	太陽光発電設備及び蓄電池	太陽光発電設備及び蓄電池 ※蓄電池の導入必須
補助件数	太陽光発電設備３件、蓄電池３件	予算の範囲内
補助金額の内訳	・太陽光：上限250万円（2.5万円/kW×100kW） ・蓄電池：上限250万円（19万円×1/6）	・太陽光:上限2,000万円 （自己所有：4万円/kW　PPA・リース：5万円/kW） ・蓄電池:上限1,000万円（4万円/kWh）

【補助イメージ】

※太陽光（PPA・リース）100kW、蓄電池125kWh導入の場合

中小事業者省エネ設備等導入支援事業補助金

- 中小事業者の省エネルギー対策を推進するため、効果的な省エネルギー設備等を導入する中小事業者（エコアクション21等の認証・登録事業者等）に対し、その費用の一部を補助

補助対象者

兵庫県内に事業所を有し、かつ次の①～③に掲げる要件をすべて満たす事業者

① 以下に掲げるいずれかの診断を過去3年以内に受けていること
- 一般財団法人省エネルギーセンターの省エネ最適化診断
- 地域プラットフォーム構築事業（経済産業省補助事業）で採択された省エネお助け隊の省エネ診断

② 中小企業基本法第2条第1項※で規定される中小企業または、年間エネルギー使用量（原油換算）が原則として1,500KL未満の工場・ビル等において省エネ対策を行う者

【ご注意】
年間エネルギー使用量（原油換算）が100KL未満の場合、省エネルギー診断の対象とならないことがあります。
その場合は、補助対象となりませんので、ご了承ください。

※中小企業基本法第２条第１項とは
下表【A】【B】いずれかを満たす法人または個人事業者

業　種	資本金の額または出資の総額【A】	常時使用する従業員数【B】
製造業等（運輸業・建設業等を含む）	３億円以下	３００人以下
卸売業	１億円以下	１００人以下
サービス業	５千万円以下	１００人以下
小売業	５千万円以下	５０人以下

③ エコアクション21またはISO14001の認証・登録事業者、または登録手続き中の事業者

補助対象事業・補助金額

補助対象事業	内容	補助金額
省エネ設備の更新・改修	省エネ診断で効果があると提案された設備の更新・改修	補助対象経費(注)（設備費と工事費）1/3（上限：100万円）
建物の省エネの改修 ・二重窓 ・高断熱サッシ化	省エネ診断で効果があると提案された二重窓や高断熱サッシへの改修	
再生可能エネルギー設備の設置 ・太陽光発電 ・ﾊﾞｲｵﾏｽ熱供給設備等	省エネ化を主目的とした10kW以上50kW未満の太陽光発電設備（全量売電を除く） バイオマス熱供給設備（例:温水ボイラー）等の設置	

注. 補助対象経費
【設備費】補助事業の実施に必要な機械装置、省エネ機器等の取得に要する経費
【工事費】補助事業の実施に不可欠な工事等に要する経費及び本工事に附帯して施工することが必要な工事等に要する経費
※消費税及び地方消費税の額は除きます

兵庫県地球環境保全資金融資制度

融資対象者

県内に工場等を有し、事業を営む次の中小企業者

① 右の表に該当する法人又は個人
② 中小企業団体の組織に関する法律に定める事業協同組合、協同組合連合会及び協同組合等
③ 常時使用する従業員が300人以下の医業を主たる事業とする法人
④ 常時使用する従業員が300人（小売業を主たる事業とする事業者については50人、卸売業又はサービス業を主たる事業とする事業者については100人）以下のNPO法人

業種	資本金	従業員数
ア　小売業	５千万円以下	50人以下
イ　サービス業（オ、キを除く）	５千万円以下	100人以下
ウ　卸売業	１億円以下	100人以下
エ　鉱業、製造業（カを除く）、運輸業等	３億円以下	300人以下
オ　ソフトウェア業、情報処理サービス業	３億円以下	300人以下
カ　ゴム製品製造業※	３億円以下	900人以下
キ　旅館業	５千万円以下	200人以下

※自動車又は航空機用タイヤ及びチューブ製造業並びに工業用ベルト製造業を除く

資金使途

① **地球温暖化対策**
- 太陽光発電等再生可能エネルギー施設及び設備の設置に要する資金（発電した電力を全て売電する場合は不可）
- 省エネルギー施設及び設備の設置等に要する資金
- 二酸化炭素削減に資する生産設備、焼却設備、業務用設備、建築設備の設置等に要する資金
- オゾン層保護法で規制された特定物質等使用設備の代替及び回収・破壊・再生設備を設置する資金
- 再生資源の利用又は資源の再利用促進に必要な設備を設置する資金

【対象事例】太陽光発電、蓄電池、エネルギー管理システム、バイオマス熱供給設備、コージェネレーション設備、二重窓、高断熱サッシ、その他高効率設備（ボイラー、コンプレッサー、冷蔵庫、給湯設備、換気設備、照明設備　等）

② **公害防止**：公害を防止するための資金
③ **緑化**：工場等の敷地内において「環境の保全と創造に関する条例」に基づき行う樹木の植栽に要する資金

利率 年0.7％　**期間** 15年以内　２年以内据置可 元金均等月賦返済　**限度額** １企業・組合　１億円

金融機関等と連携した脱炭素経営の促進

脱炭素社会の推進に関する包括連携協定の取組

- 三井住友銀行、神戸大学、地球環境戦略研究機関（IGES）、神戸新聞社及び兵庫県の五者により、「脱炭素社会の推進に関する包括連携協定」を締結
- 2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、脱炭素経営セミナーなどの広報・普及啓発、次世代への環境教育などを連携して実施

協定締結式(R5.2)

五者協定シンポジウム

【セミナー・シンポジウム開催状況（R5年度）】

内　容	開催場所	参加者
ひょうご脱炭素経営セミナー（R5.7.12） ・脱炭素経営入門 ・CO_2排出量の算定、効率的手法で取り組む脱炭素経営 ・カーボンフットプリントの普及促進	ラッセホール	220名 (Web併用)
脱炭素社会の推進に関する包括連携協定シンポジウム（R6.3.19） 2050年カーボンニュートラル～私たちはどうすべきか～ ・デジタル技術を活用した空調省エネ制御の取組 ・学生による活動発表・パネルディスカッション	神戸大学百年記念館六甲ホール	230名 (Web併用)

他の金融機関との連携

本県と産業振興に係る連携協力に関する協定を締結するみなと銀行、日本政策金融公庫神戸支店と連携し、脱炭素経営の促進、持続可能な企業価値向上を支援

みなと銀行

内　容	脱炭素貢献私募債「グリーン企業の証」の発行事務と全額引受を担う同行が、企業から受け取る事務手数料の一部（私募債発行金額の0.2%相当）を、企業が指定する環境関連基金等に寄付
寄付先	• 緑の募金（兵庫県緑化推進協会） • ひょうごｸﾞﾘｰﾝｴﾈﾙｷﾞｰ・ﾌﾞﾙｰｶｰﾎﾞﾝ基金（ひょうご環境創造協会） • 循環型社会形成推進基金（ひょうご環境創造協会） • 森林の恵み活性化プロジェクト（兵庫県森林大学校） • 地球環境基金（環境再生保全機構）

日本政策金融公庫神戸支店

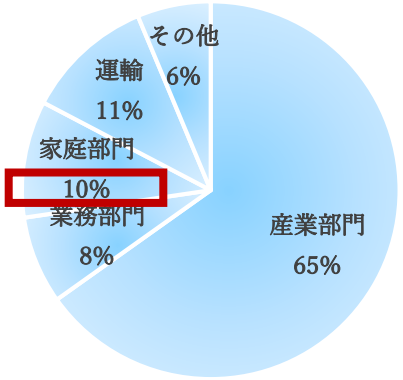
内　容	特別利率による融資
対　象	• 「地域創生！再エネ発掘プロジェクト」の採択を受けた事業者 • 「再エネ100宣言 RE Action」に参画する事業者 • 「GHG排出量算定サービス導入補助金」を受けた事業者　など

脱炭素型ライフスタイルへの転換

ひょうご1.5℃ライフスタイル

- 2030年温室効果ガス(GHG)排出量48%削減(2013年比)の達成に向けては、県内GHG排出量の約7割を占める産業部門での削減取組みだけでなく、産業部門の削減率以上の削減が求められている家庭部門での取組み強化が喫緊の課題
- 国においても令和5年8月から炭素中立型の経済社会への移行を目指した「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動(デコ活)」が本格的にスタート
- 脱炭素製品の需要を強力に創出するなど、県民の脱炭素型消費行動への変容、ライフスタイルの転換を後押し

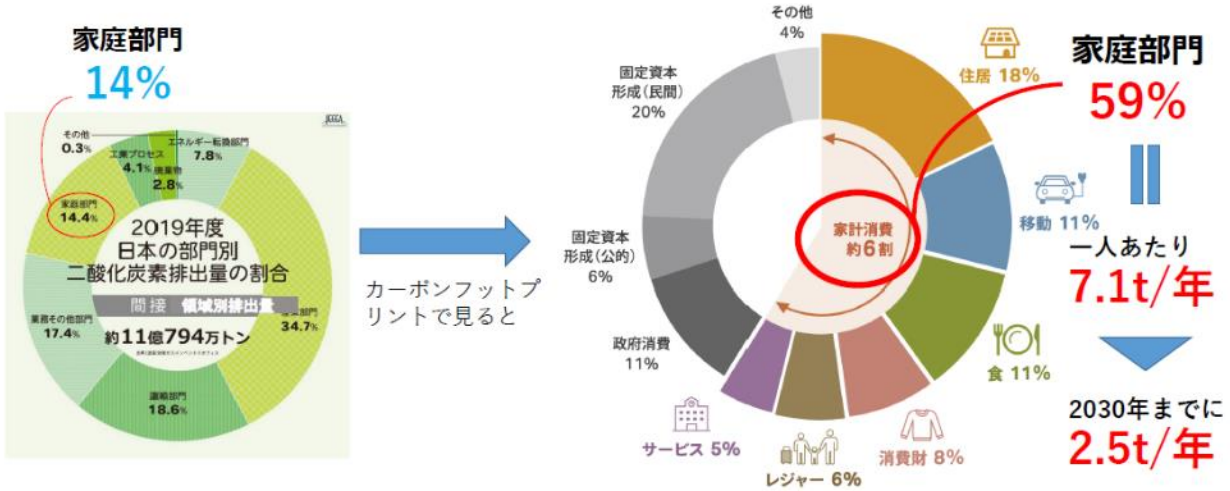
【兵庫県における温室効果ガス排出量・2013年度実績及び2030年度削減目標（部門別）】



部　門		2013 年度【実績】	2030 年度【削減目標】	
		排出量 (kt-CO_2)	排出量 (kt-CO_2)	2013 年度比
エネルギー起源 CO_2	産業部門※1	47, 952	29, 144	▲39. 2%
	業務部門	6, 815	2, 121	▲68. 9%
	家庭部門	8, 364	3, 273	▲60. 9%
	運輸部門	8, 128	4, 267	▲47. 5%
その他※2		3, 923	1, 766	▲55. 0%
計 (A)		75, 182	40, 571	▲46. 0%
吸収源による吸収量 (B)		—	▲1, 260	▲1. 7%
吸収量含む計 (A+B)		75, 182	39, 311	▲48%

出典：「兵庫県地球温暖化対策推進計画（2022年３月改定）」

【カーボンフットプリントで換算した温室効果ガス排出量】



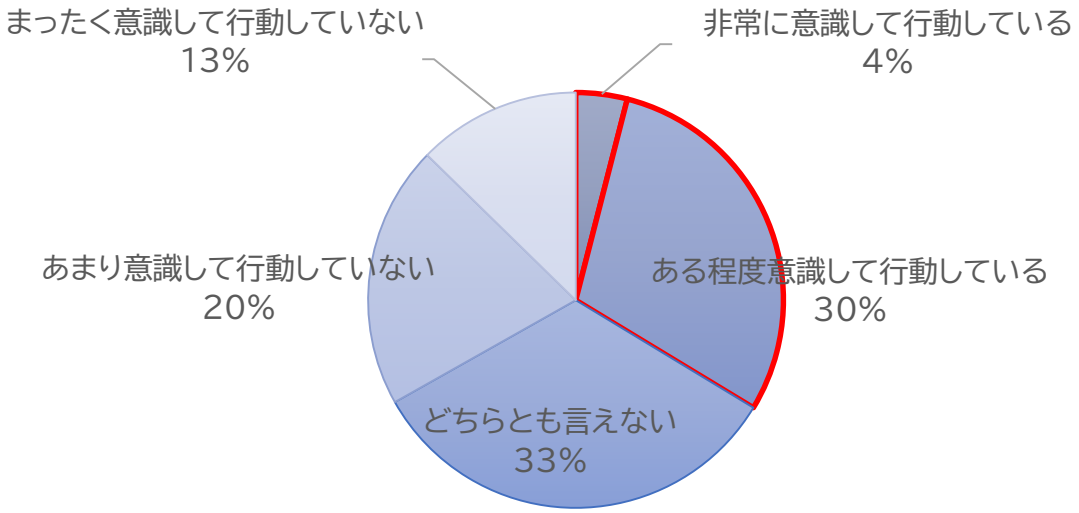
出典：「産業連関表による環境負荷原単位データブック(3EID) 国立環境研究所」

ひょうご1.5℃ライフスタイルの普及啓発の方向

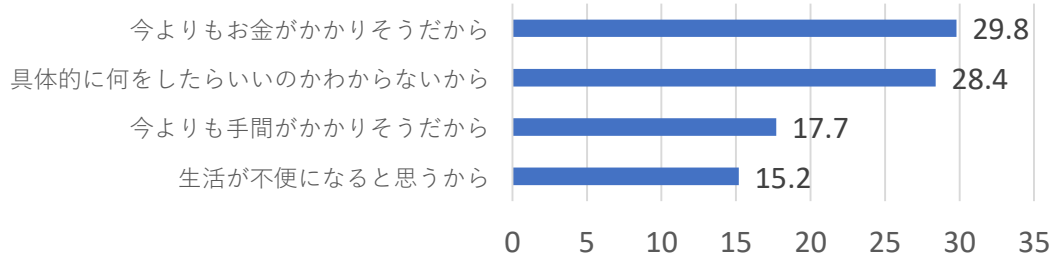
生活者の意識の課題

- 脱炭素への認知もあり必要性を感じているが行動出来ていない
  - 脱炭素の認知は9割を超えている
  - 一方で、脱炭素を意識して行動している人は少ない（33.6%）
  - その理由で多いのは、「今よりもお金がかかりそうだから」「具体的に何をしたらいいのかわからないから」

［生活者の脱炭素意識］



［脱炭素に向け行動しない理由］



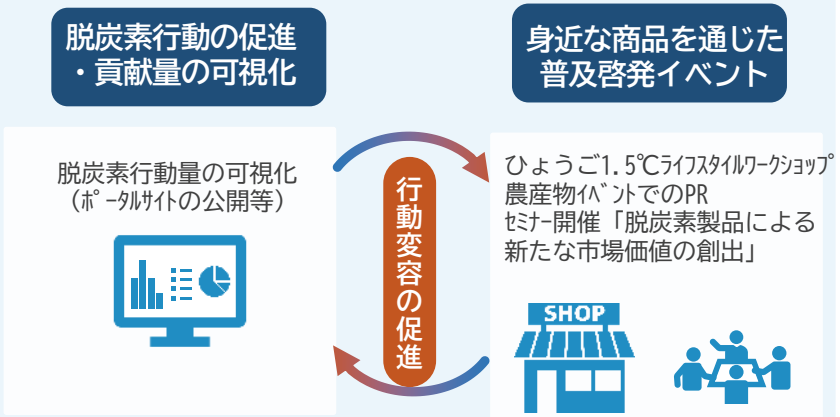
（出展：博報堂「第5回生活者の脱炭素意識＆アクション調査」2024年3月）

「ひょうご1.5℃ライフスタイル」の普及啓発

民間事業者や各市町と連携し、県民の脱炭素型消費への行動変容、ライフスタイルの転換を後押しするトータルな啓発活動「ひょうご1.5℃ライフスタイル」を展開

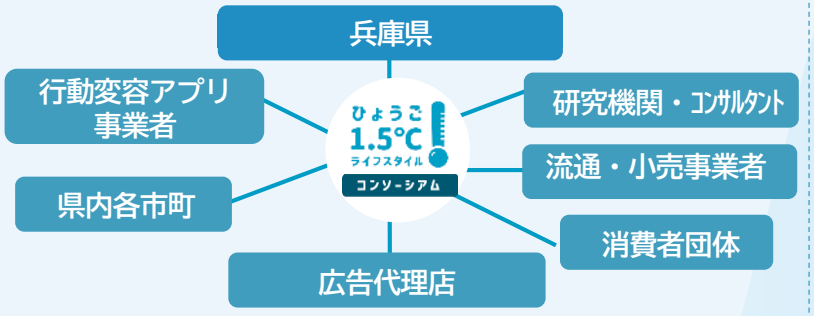
事業イメージ

様々な角度から県民に気づきを与え、行動変容を促進



推進体制 ひょうご1.5℃ライフスタイルコンソーシアム

各事業者・団体が有するケイパビリティを活用し、効果の最大化を図る



「ひょうご1.5℃ライフスタイル」の取組み（令和６年度）

民間事業者や各市町と連携し、県民の脱炭素型ライフスタイルへの転換を後押しするトータルな普及啓発活動を展開します。

脱炭素行動の促進・貢献量の可視化

ポータルサイトでの情報発信

- 「ひょうご1.5℃ライフスタイル」ポータルサイトでは、「脱炭素を何から始めていいか分からない」という方に、我慢しない脱炭素型ライフスタイルを紹介します。

リンク
https://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/hyogo-1p5deg-lifestyles

脱炭素行動の促進

- 取り組みやすい脱炭素行動を提示し、ライフスタイルへの転換を後押します。

脱炭素行動の例

移動はできるだけ公共交通・徒歩・自転車で	買物・調理・保存の工夫で食品ロスを出さない	地元の食材を選ぶ
自宅でコンポストを使う	脱炭素型の商品を選ぶ	使い捨てプラスチックの使用を減らす
ゴミの分別・資源回収に協力する	洋服を大切に長く着る	オンライン会議やテレワークを取り入れる

アプリ連携による脱炭素貢献量（効果）の可視化

［連携アプリ］ SPOBY
（株式会社スタジオスポビー）

脱炭素行動促進アプリ「SPOBY」と連携し、県民の脱炭素行動の効果を可視化します。

データは、ポータルサイト内のダッシュボードページにまとめ、随時更新して発信します。

脱炭素エキデン ひょうご

「ひょうご1.5℃ライフスタイル」公式コミュニティ開設！
SPOBYアプリ内に「脱炭素エキデンひょうご」として、県民向けのコミュニティが開設されました。詳しくはこちら（外部サイト）よりご確認ください。

身近な商品を通じた普及啓発イベント等

兵庫県産脱炭素商品の普及イベント

- 下記イベントに出展し、JAたじま、JAあかしと連携して、脱炭素商品の認知拡大を図ります。
- 会場にて脱炭素商品に関する意識調査を実施します。ご協力いただいた方には、兵庫県産脱炭素商品をプレゼントします（数量限定）

［脱炭素商品の例］
農林水産省「温室効果ガス削減見える化ラベル」三ツ星を取得した２つの県産米

JAたじま「コウノトリ育むお米」

JAあかし「花美人」

イベント日程

日　程	イベント名（場所）
10月19日(土)・20日(日)	兵庫県民農林漁業祭（明石公園）
10月27日(日)	ラジオ関西まつり（神戸ハーバーランド）
11月　9日(土)・10日(日)	おおさかもん祭り（てんしば広場）

ひょうご1.5℃ライフスタイルワークショップ

- (株)日本総合研究所グリーン・マーケティング・ラボと連携し、ひょうご1.5℃ライフスタイルワークショップを実施します。
- 小さなお子様でも楽しく参加いただけます。詳しい情報は、ひょうご1.5℃ライフスタイルポータルサイトにてご確認ください。

イベント日程

日　程	イベント名（場所）
11月 2日(土)	第1回：身近な脱炭素を見つけよう　<当日参加型> 「CO_2モンスター」（デュオこうべ 採光ドーム）
R7年 2月予定	第2回：脱炭素な商品の見つけ方　<要予約> 「エコラベル研究所」（場所未定）

みんなで！減CO2

ひょうごフードドライブキャンペーン

- フードロス削減の取組として、フードドライブキャンペーンを実施します。食品寄付にご協力をお願いします。
- コープ会場では、お子様がフードロス削減を楽しく学べるゲームも用意しています。

イベント日程

日　程	実施場所
9月14日(土)　10時～12時	コープこうべ西神南（セリオ1階センターコート）
10月23日(水)　11時～13時	兵庫県本庁舎1号館１階

ご清聴ありがとうございました

Hyogo Prefecture

優秀な人材の確保

持続可能な経営

企業のｲﾒｰｼﾞ向上

ひょうご産業SDGs宣言・認証事業

新たなﾋﾞｼﾞﾈｽ機会の拡大

従業員のﾓﾁﾍﾞｰｼｮﾝ向上

金融機関の融資機会拡大

兵庫県産業労働部地域経済課

ひょうご産業SDGs推進宣言事業（R4～）

SDGs に取り組む中小企業の宣言内容を登録･公表し、企業経営にSDGsの導入を促進

1 事業スキーム

県内中小企業

SDGsの目指す目標を１つ設定して具体的取組を明示し、HP等により公表

①登録 →

← ②登録証

兵庫県

〔 ひょうご産業活性化センター 〕

※登録期間は期限なし

「ひょうご産業SDGs推進宣言事業・認証事業」とは

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

＜ひょうご産業活性化センターHP＞

http://web.hyogo-iic.ne.jp/sdgs/about/

2 宣言企業のインセンティブ

- ✔ 登録証の交付
- ✔ ひょうご産業活性化センターHPで宣言企業を紹介
- ✔ 専用ロゴマークの使用
- ✔ SDGsの推進に関する専門家派遣（1/2負担）
- ✔ 金融機関から融資を受ける際の保証料率の20％軽減
- ✔ 兵庫県奨学金支援制度の補助期間拡充（５年→１０年）

ひょうご SDGs

ひょうご産業SDGs推進宣言事業
登録証

貴社を「ひょうご産業SDGs推進宣言企業」として登録します。
登録期間　2023年11月27日 ～ 2025年3月31日

2023年11月27日

公益財団法人
ひょうご産業活性化センター

No. 0830

＜登録証＞

3 募　集

常時受付

ひょうご産業SDGs推進宣言事業（記入例）

目指すゴール	No.項目	12. つくる責任つかう責任
目指すゴールと自社の活動の関係		和菓子を製造する過程で発生する食品廃棄物の量は毎月数十トンにも及ぶため、生産工程を改善したいと考えた。
達成に向けた具体的な取組内容	概要	製造工程の見直しによる食品廃棄物の削減
	詳細	工場設備のレイアウト変更や人員配置を見直し、より効率的な製造体制を実現して、５年後に食品廃棄物を現在の量から半減させる

SDGsの17のゴールから関連するゴールを選択

具体的な取組を記入

SDGs宣言企業数で全国トップを達成！ ［R6年8月］

ひょうご SDGs

＜全国順位＞

★ **R4年度は下位（25府県中16位）であったが、昨年度から今年度にかけて急激に実績を伸ばし、全国トップを達成！**

※SDGs宣言制度を25府県で実施

【R４年度末】

順位	都道府県
1	長野県（1,943社）
2	熊本県（1,907社）
3	千葉県（1,754社）
4	埼玉県（1,166社）
5	三重県（1,140社）
：	：
16	**兵庫県（391社）**

【R５年度末】

順位	都道府県
1	熊本県（2,233社）
2	長野県（2,229社）
3	千葉県（1,754社）
4	**兵庫県（1,641社）**
5	埼玉県（1,512社）
：	：

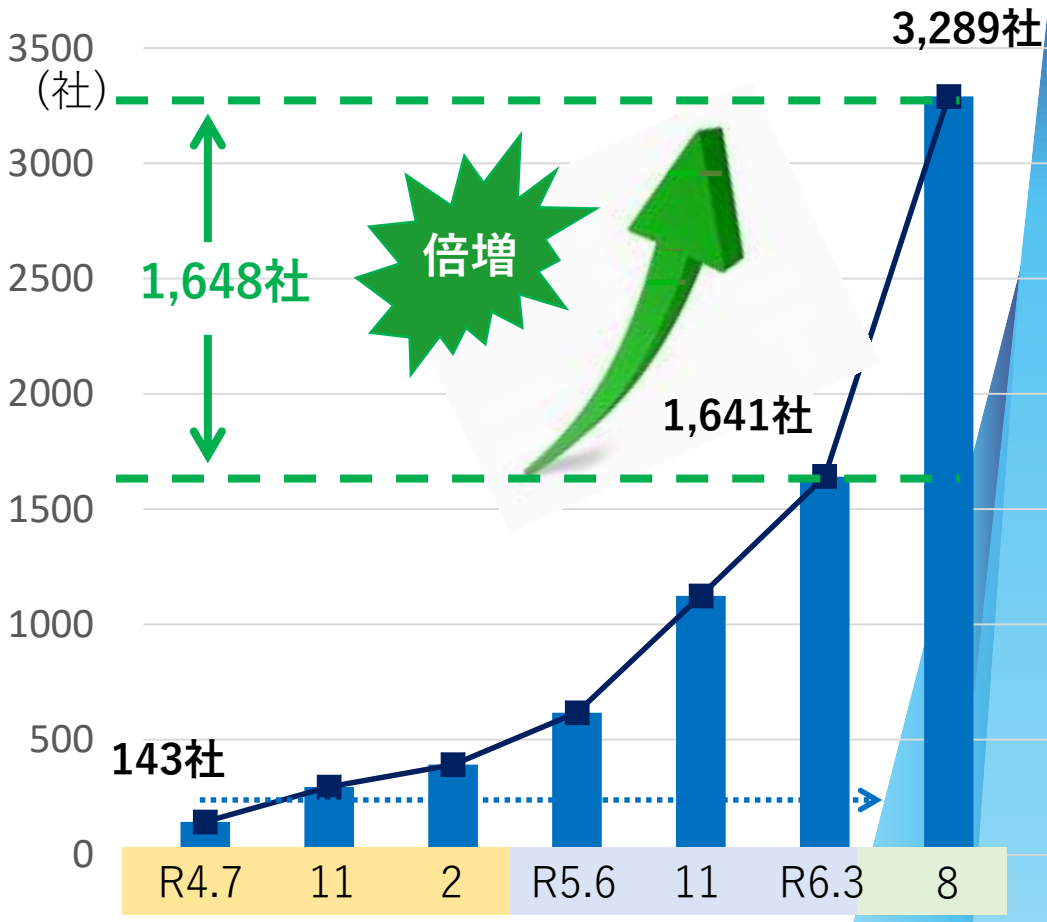
【R６年８月】

順位	都道府県
1	**兵庫県（3,289社）**
2	長野県（2,320社）
3	熊本県（2,233社）
4	千葉県（2,197社）
5	埼玉県（1,733社）
：	：

※兵庫県調べ

＜宣言企業数の伸び＞

★ **R６年度初回募集で、過去最高の1,648社の申請があり累計3,000社を突破！**



ひょうご産業SDGs認証事業（R5～）

県による認証を通じて、宣言企業のステップアップを促進

1 事業スキーム

宣言企業 ⇄ ①申請 / ④認証書 ⇄ 兵庫県（ひょうご産業活性化センター） ⇄ ②審査依頼 / ③審査結果 ⇄ 審査会

※認証期間：3年経過以降の最初の3月31日まで（更新可）
毎年度、県へ取組状況を報告

2 認証要件

(1)～(3)のいずれも満たすことが必要

(1) 社会・経済・環境に関する全30項目のﾁｪｯｸｼｰﾄにより自社のSDGsの現状の取組を自己評価
※「WLB認定企業」「ひょうごﾐﾓｻﾞ企業」等一部項目免除
(2) 今後5年以内に目指す目標を３つ設定
(3) ひょうごSDGs Hubへ参画

3 認証区分とインセンティブ

認証区分		ﾁｪｯｸｼｰﾄ	インセンティブ
最上位	ゴールドステージ ★★★	25項目以上	(a) 大規模展示会への優先出展 (b) 合同企業説明会への優先出展 (c) 学生による企業のSDGs取組PR動画作成 ※(a)～(c)のうちいずれか一つ
上位	アドバンストステージ ★★	20項目以上	(d) 兵庫県信用保証協会によるSDGs社債保証 （社債発行の際の保証料率平均25%割引）
標準	スタンダードステージ ★	10項目以上	(e) 知事名による認証書を交付 (f) 中小企業融資制度の低利融資『SDGs支援貸付』 （貸付利率0.9%、保証料率20％割引） (g) 兵庫県奨学金支援制度の補助期間拡充（５年→１７年）

認証書(ｺﾞｰﾙﾄﾞｽﾃｰｼﾞ)

4 次回募集

令和６年11月５日（火）～25日（月） ※年間２回募集

第1回～第3回SDGs認証企業
～累計で235社を認証し都道府県で全国トップ～

HYOGO SDGs

認証企業数全国順位

（R6.8時点）

1 兵庫県 235社

2 鳥取県　47社

3 沖縄県　11社

※認証制度は全国で３県が実施

宣言企業【3,289社】

スタンダードステージ★【178社】

アドバンストステージ★★【41社】

ゴールドステージ★★★【16社】

【ゴールドステージの取組例】

(株)神戸酒心館（神戸市東灘区、酒造業）

酒心館

世界初カーボンゼロの日本酒を開発

・100%再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰとｶｰﾎﾞﾝﾆｭｰﾄﾗﾙな都市ｶﾞｽへの転換によりCO_2排出ｾﾞﾛの日本酒製造を実現

・酒粕を就労支援ｾﾝﾀｰの酒粕ﾊﾞﾀｰｸｯｷｰとして再利用し、食品ﾛｽ削減と障がい者の工賃ｱｯﾌﾟを実現

9 産業と技術革新の基盤をつくろう　13 気候変動に具体的な対策を

足立織物(株)（多可町、繊維工業）

ADACHI ORIMONO

防災用毛布のﾘﾕｰｽ、ｱｯﾌﾟｻｲｸﾙを推進

・独自の真空ﾊﾟｯｸ技術を生かした使用済み毛布の洗浄・再ﾊﾟｯｸによるﾘﾕｰｽ、廃棄毛布のｱｯﾌﾟｻｲｸﾙ(軍手・小物入れ等)によるﾘｻｲｸﾙを推進

・自然災害による被害を極小化するため、非常用圧縮毛布をはじめとした防災用品を地元自治体等へ寄贈

12 つくる責任 つかう責任　17 パートナーシップで目標を達成しよう

KOBOSHA
Emergency Management

ひょうごSDGs Hubミーティング

神防社のSDGsへの取り組みと成果について

株式会社神防社　　総務部 楢原春希　　営業部 久保 功

神 防 社 と は ･･･

社名	**株式会社 神防社**
創業	2008**年**11**月**
社員	89**名**
代表者	**辻 真一**
資本金	2,000**万円**
拠点	**神戸本店・大阪・東京**

神戸の防災の会社で「こうぼうしゃ」です。

火災から建物を守る「消防設備の設置・点検・メンテナンス」を行い、
火災の被害を未然に防ぐことが、「神防社」のお仕事です。

KOBOSHA
Emergency Management

SDGs 宣言

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

≪ひょうご産業SDGｓ推進宣言事業≫

●社員を応援　社会に貢献『「わたし」からアクション宣言』

「好き」と「得意」を活かす職場づくりを推進

―全社員のクリエイティブな意見を取り入れアイディアを活かしたエンゲージメント向上に挑戦します

令和４年１１月２８日

KOBOSHA
Emergency Management

★特徴的な取組①

KOBOGIRLプロジェクト

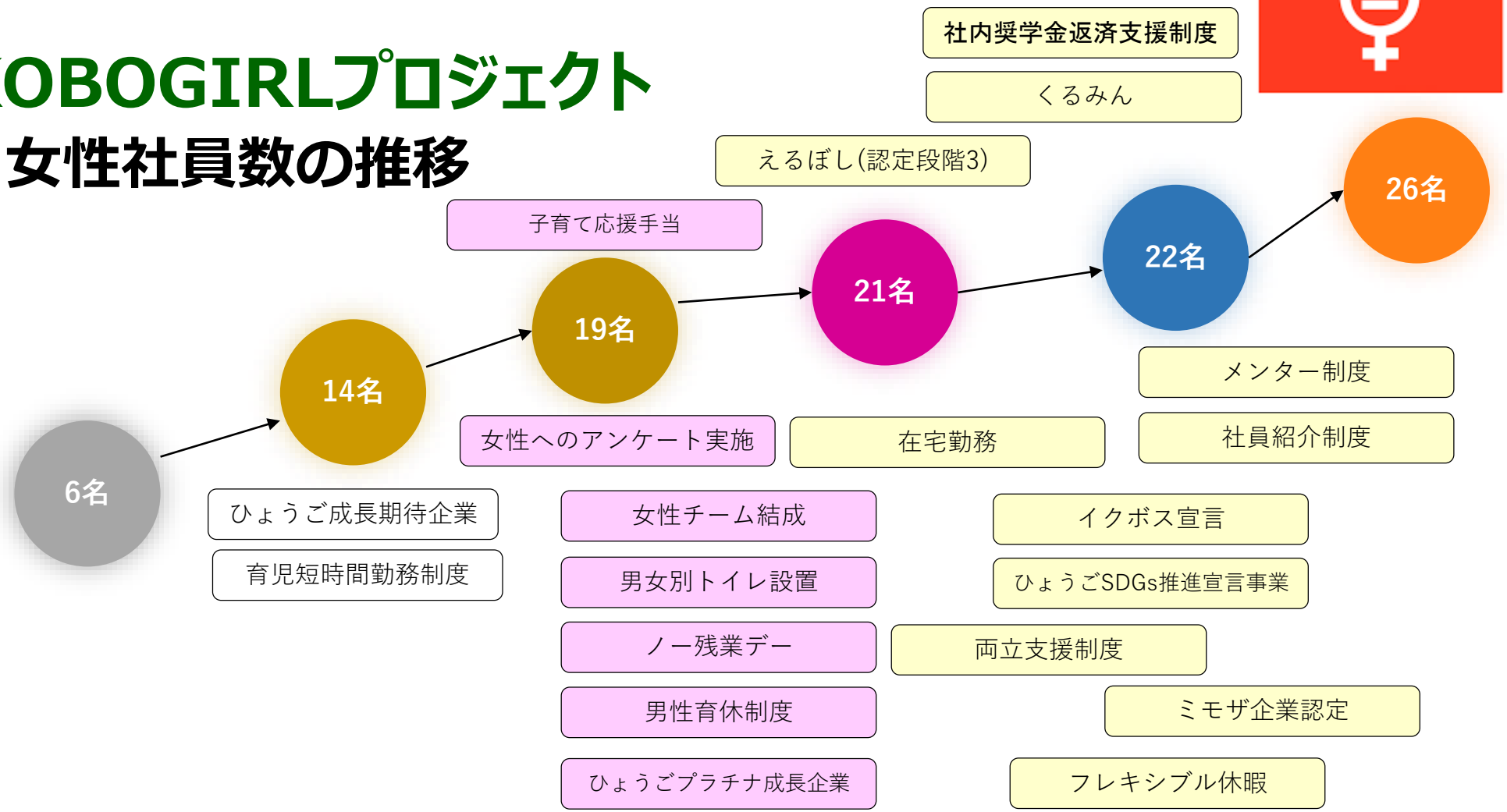
女性だけのメンテナンスチーム。
啓発活動はもちろん、働く者の負担軽減に加え、夜間
立会など、依頼側の負担も小さくする取り組みです。

KOBOSHA
Emergency Management

★特徴的な取組①

KOBOGIRLプロジェクト

女性社員数の推移

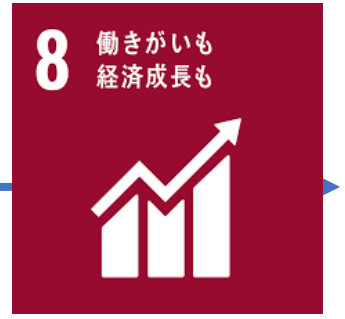


5 ジェンダー平等を実現しよう

8 働きがいも経済成長も

KOBOSHA Emergency Management

★特徴的な取組①



女性の在籍者についてのデータ（2024.6現在）

副社長　１名

部長級　１名

課長級　１名

係長・主任級　５名

一般社員　16名　　うち外国人　2人

在籍中に出産した女性の数

2人

2013～2018

在籍中に出産した女性の数

16人

2018～2023

男性の育休取得も実現しました！

KOBOSHA
Emergency Management

★特徴的な取組②

災害用携帯トイレ「モラスマイ」

兵庫県・神戸市・宝塚市・
静岡県袋井市、大手民間企業に納品済

箱詰め作業を依頼するNPO法人「中央むつみ会」と連携し、法人の認定NPO化に貢献します。お客様が「モラスマイ」を購入することで、災害に備えつつ、障がい者の働きがいを支援できるしくみになっています。

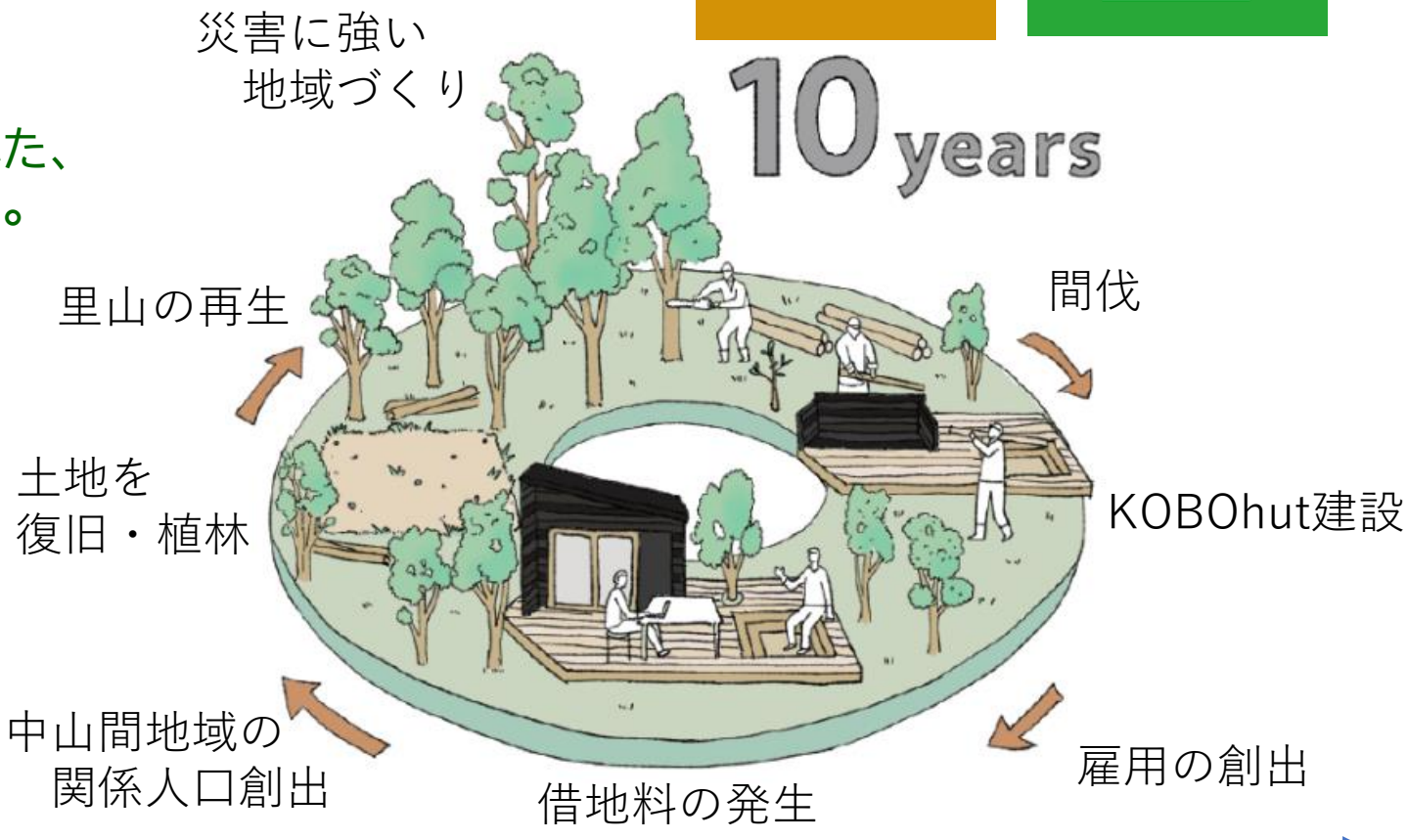
KOBOSHA
Emergency Management

★特徴的な取組③

KOBOhut

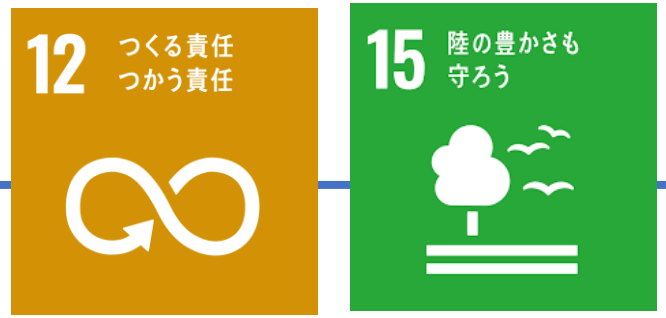
丹波市青垣町の自然あふれる土地に創られた、
「循環型アウトドア多目的スペース」です。

2022年　グッドデザイン賞受賞。



KOBOSHA
Emergency Management

★特徴的な取組③



KOBOhut

神戸市の神戸登山プロジェクト「TREK KOBE」に採用。
「つくはらキャビン」として、2024.6.9オープン！

オープン式典は
久元市長にも参加いただき、盛大に挙行されました

KOBOSHA
Emergency Management

成果①　数字化可能な魅力を創出

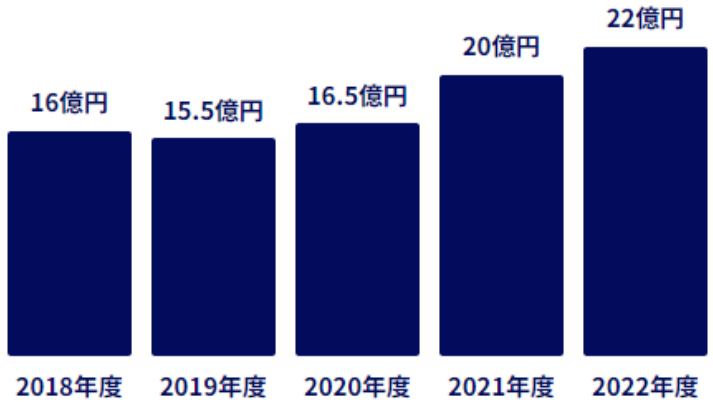
週休二日以外に
有給取得推進日等を設け、
社員に休息をしっかり提供

コロナ禍中にあっても売り上げを大きく落とすことなく
堅調な売り上げ増を実現
その利益を原資として待遇の改善を推進中

正社員数
80人

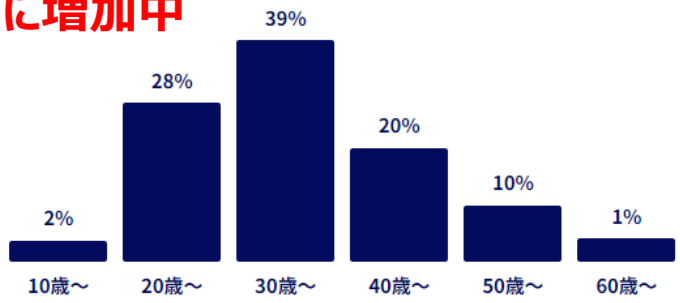
110
日以上

売り上げ



待遇等に魅力を感じ
社員数は順調に増加中

平均年齢
36歳



スキルアップ手当の数
20個

入社後の出産数
41人

男女比
7:3

業界の平均年齢は年々上昇傾向
その中で女性の登用を積極的に推進し
若手中心の社員構成を実現

KOBOSHA
Emergency Management

成果②　各種認定･受賞により対外的なプレゼンスを獲得

多くの取り組みを行い数多くの認定、表彰を頂いております。一部をご紹介いたします。

ひょうご産業SDG s 認証事業
ゴールドステージ

えるぼし認定企業
（認定段階３）

くるみん認定企業
(2022年度)

健康経営優良法人2024

ひょうご仕事と生活の
バランス認定企業

ひょうご・こうべ女性活躍
推進企業(ミモザ企業)認定

ひょうご仕事と生活のバランス
表彰企業

ひょうご女性の
活躍企業表彰

こうべ男女いきいき事業所

SPORTS YELL
COMPANY 2023

ひょうご産業活性化センター認定
成長期待企業

KOBOSHA
Emergency Management

【まとめ】今後の目標

SDGsの多様な取組のさらなる拡大・推進

会社への貢献度を検証し、持続性のある活動へ

入りたくなる、働きたくなる会社にしていく

KOBOSHA
Emergency Management